

本丸 EX v2 Ver.2.6.251.1 以降  
新機能 操作マニュアル

作成者：石田データサービス株式会社

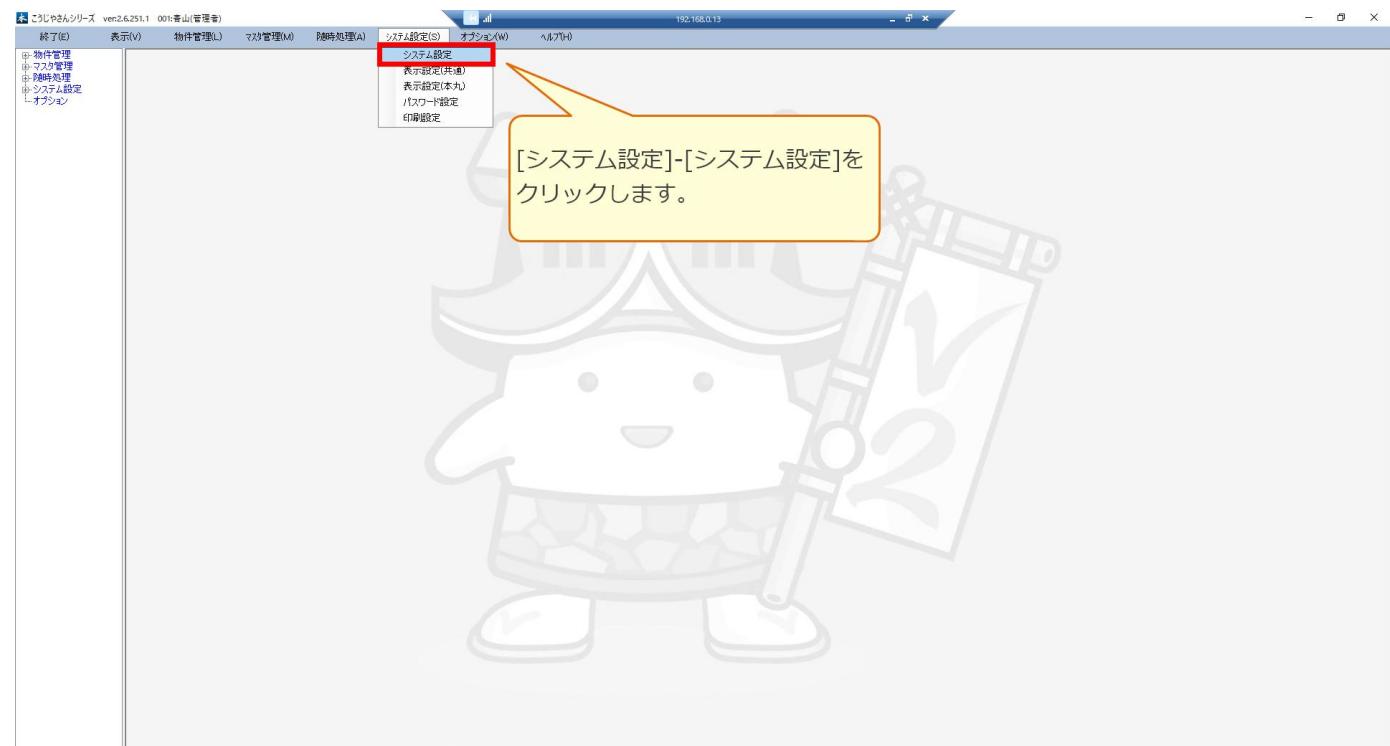
版数：第 1 版

# 目次

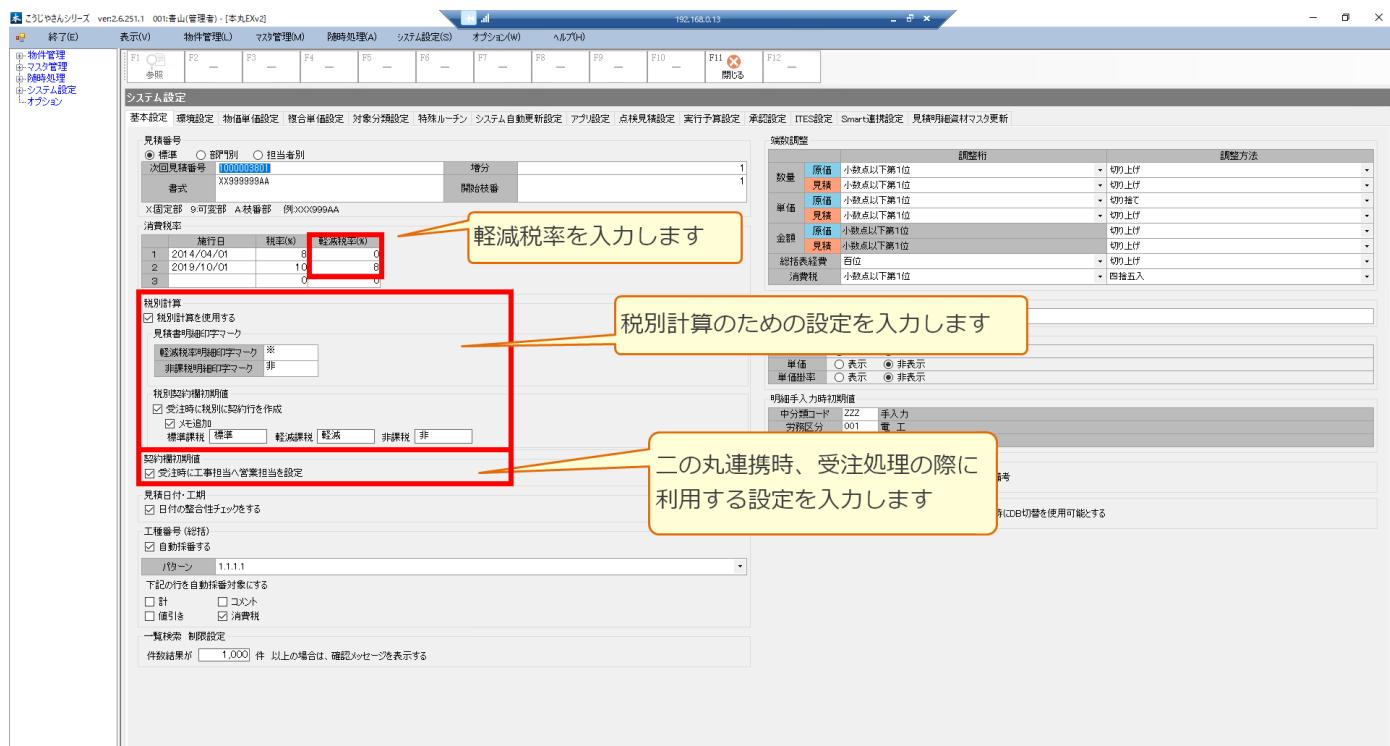
目次 .....	1
1 : 事前準備 .....	2
2 : 見積金額の消費税を軽減税率・非課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。 .....	4
3 : 二の丸連携時、受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。 ....	8
4 : 【点検見積オプション】非課税品目を見積に含めることができるようになりました。 .....	10
5 : 【点検見積オプション】受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。 .....	14
6 : Ver2.6.252.1 以降 新機能 .....	17
7 : 親子の明細で、親行のみ選択した状態で親子のセットを削除できるようになりました。 .....	18
8 : 物件を再利用する時、複写したい項目を設定できるようになりました。 .....	20
9 : 二の丸側で工事台帳の見積番号を削除しなくても、本丸で工事解除できるように改善しました。 ....	23
10 : 【二の丸連携あり】「受注処理」画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。 .....	26
11 : 【二の丸連携あり】受注処理後に「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになりました。 .....	29
12 : 【二の丸連携あり】表紙画面から「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができます。 .....	31
13 : Ver2.6.253.1 以降 新機能 .....	33
14 : 【二の丸連携あり】表紙画面から「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができます。 .....	34
15 : 【実行予算オプション】実行予算画面に、見積読込時の定価率を分類画面と明細画面に表示するように改修しました。 .....	35
16 : 管理資料に工種番号付き工種名の印刷パラメータを設けました。 .....	36
17 : 【点検見積オプション】物件総括帳票の物件ごとの表紙に「工事名称」を印字できる印刷パラメータを設けました。 .....	40
18 : 見積番号の設定（標準・部門別・担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。 .....	43

# 1：事前準備

ステップ1. [システム設定] - [システム設定]をクリックします。

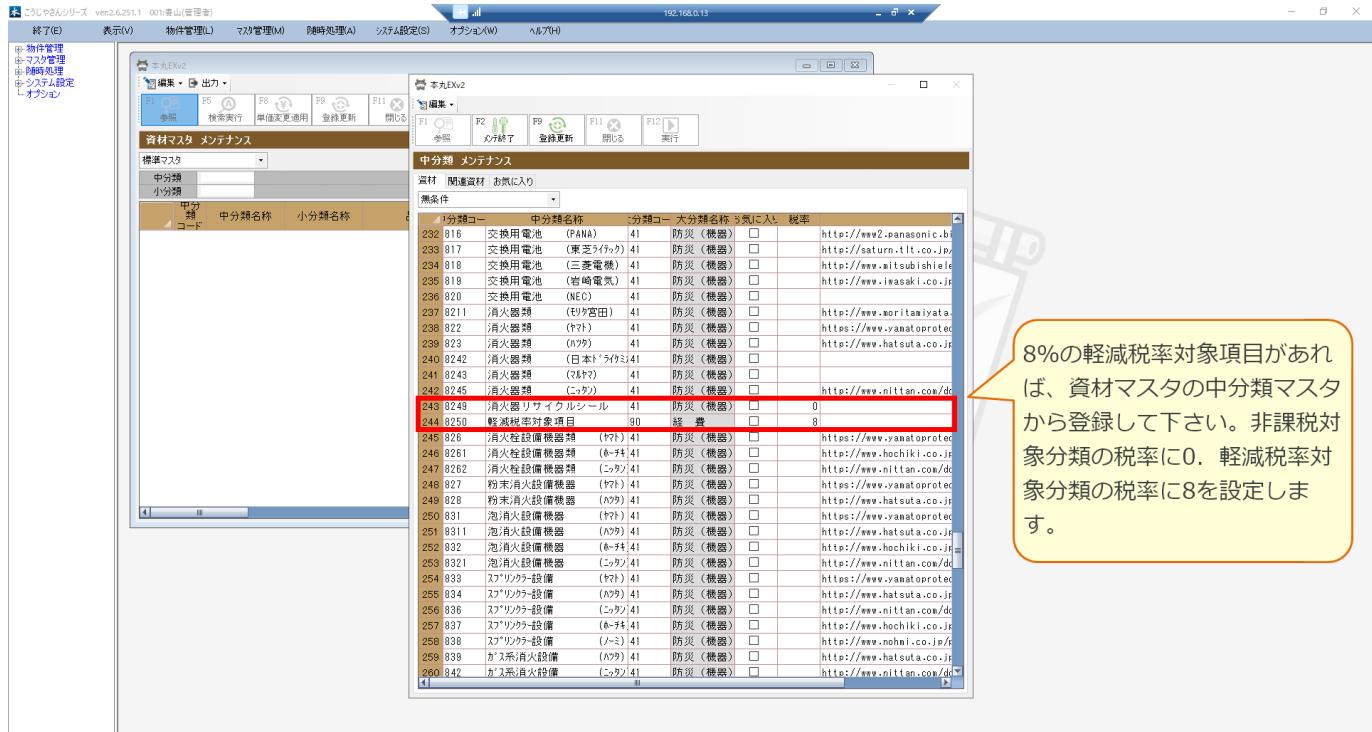


ステップ2. 消費税率の軽減税率、税別計算、契約欄初期値が追加されました。



## ステップ3. 8%の軽減税率対象項目があれば、税率を登録します。

[マスタ管理]-[見積関連マスタ]-[中分類名マスタ]をクリックします。



課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

## 2：見積金額の消費税を軽減税率・非課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

ステップ1. 見積の明細画面を開きます。

[F2 資材選択]より資材を選択します。

こうじやさんシリーズ ver2.6.251.1 001:青山(管理者) - [本丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(L) マスク管理(M) 随時処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

追加・編集・特殊行・実行予算

F1 参照 F2 資材選択 F3 自動処理 F4 分類別メンテ F5 - F6 - F7 - F8 - F9 開ける F10 - F11 前画面 F12 再表示

明細入力 [1000 資材選択 石田ビル電気設備工事]

表紙 総括 明細

見積 管理 実行予算 初期設定 ○○会社用 基準労務原価 11,500 基準労務単価 20,000 見積金額 18,000 利益 -1,000 原価金額 19,000 利益率 -5.56

標準マスク 複合単価 施工方法 施工補給 明細参考 物価単価 資材選択 パターン1 子を非表示

行挿入 計挿入 コメント 値引き 親子 保存 復元 ネット 資材マスクを更新する

中分類CD	中分類名	品目名称	規格名称	単位	拾い数	原価 補給率	原価 数量	見積 補給率	見積 数量	基準単価	定価	原価掛率	原価単価	原価金額
1 8250	軽減税率対象項目	軽減税率対象項目		個	10	100	10	100	10	500		100	500	5,0
2 8249	消火器リサイクルシール	消火器ラベル		枚	10	100	10	100	10	300		100	300	3,0
3 101	電線管・付属品類	ねじガ電線管	E 19 隠べい	m	10	110	11	100	10	1,000		100	1,000	11,0
4														

(例) [F2資材選択]より資材を選択します。

1行目に非課税対象分類（税率0%）の資材、  
 2行目に軽減税率対象分類（税率8%）の資材、  
 3行目に課税対象分類（税率10%）の資材を選択します。

合計 19.0

課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

## ステップ2. 見積の表紙画面を開きます。

「□税別計算」にチェックを付けると、見積金額を中分類に設定した税率別に集計して消費税が表示されます。

通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。

Ⓐ

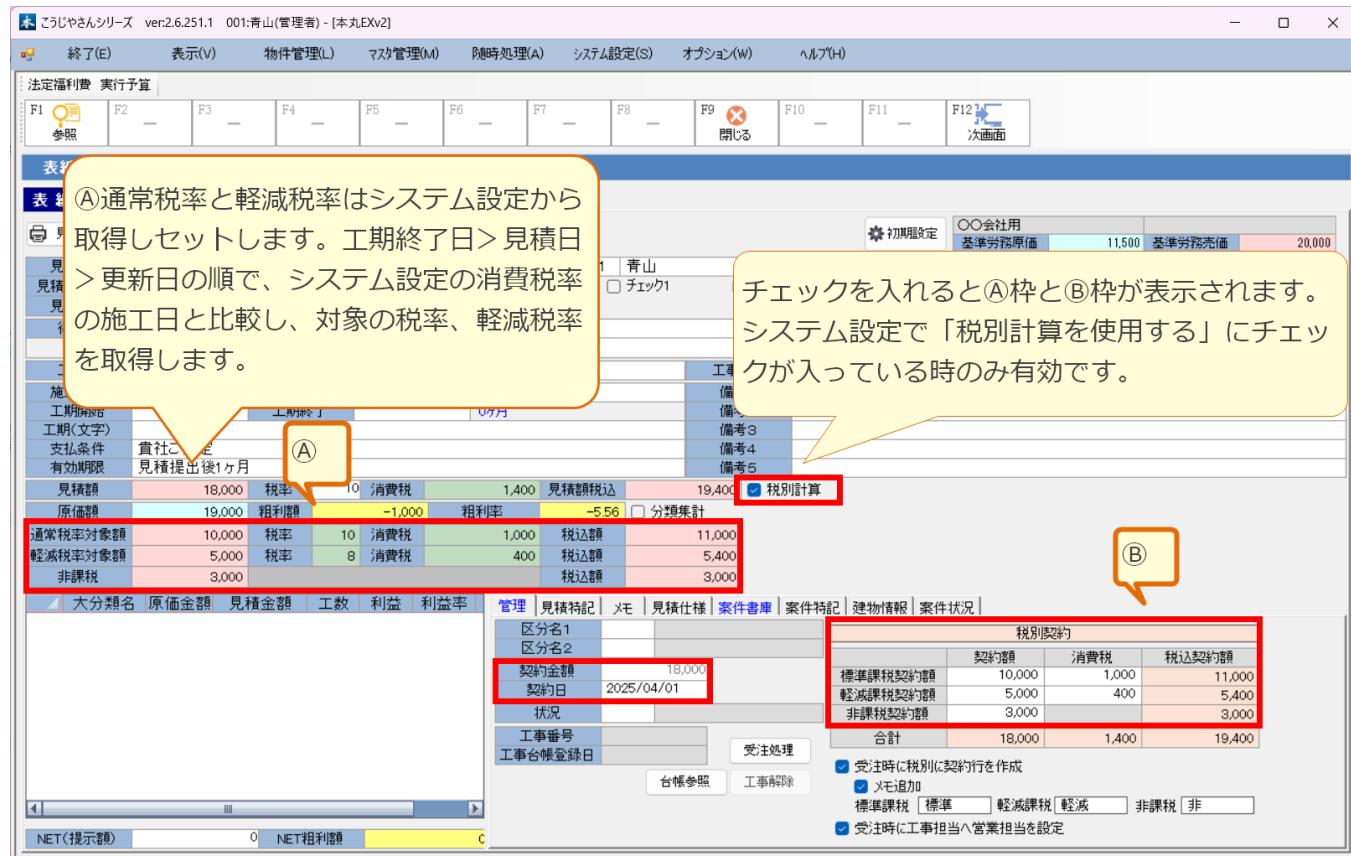
通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。

工期終了日> 見積日> 更新日の順で、システム設定の消費税率の施工日と比較し、対象の税率、軽減税率を取得します。

Ⓐ各対象額は明細の金額を集計し自動でセットします。

見積明細の中分類コードから中分類マスタの税率を取得します。

- ・通常税率対象・・・中分類マスタの税率が空白と、0と8以外の明細
- ・軽減税率対象・・・中分類マスタの税率が8の明細
- ・非課税・・・中分類マスタの税率が0の明細



課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

### ステップ3. 見積書（明細付）を印刷します。

軽減税率課税額合計・消費税と非課税額合計を帳票に出力するパラメータを設けました。

また、見積書の明細に軽減税率対象と非課税対象の明細行にシステム設定で設定した

それぞれのマークを出力することもできます。

#### 【表紙印刷部】

#### 印刷パラメータ名

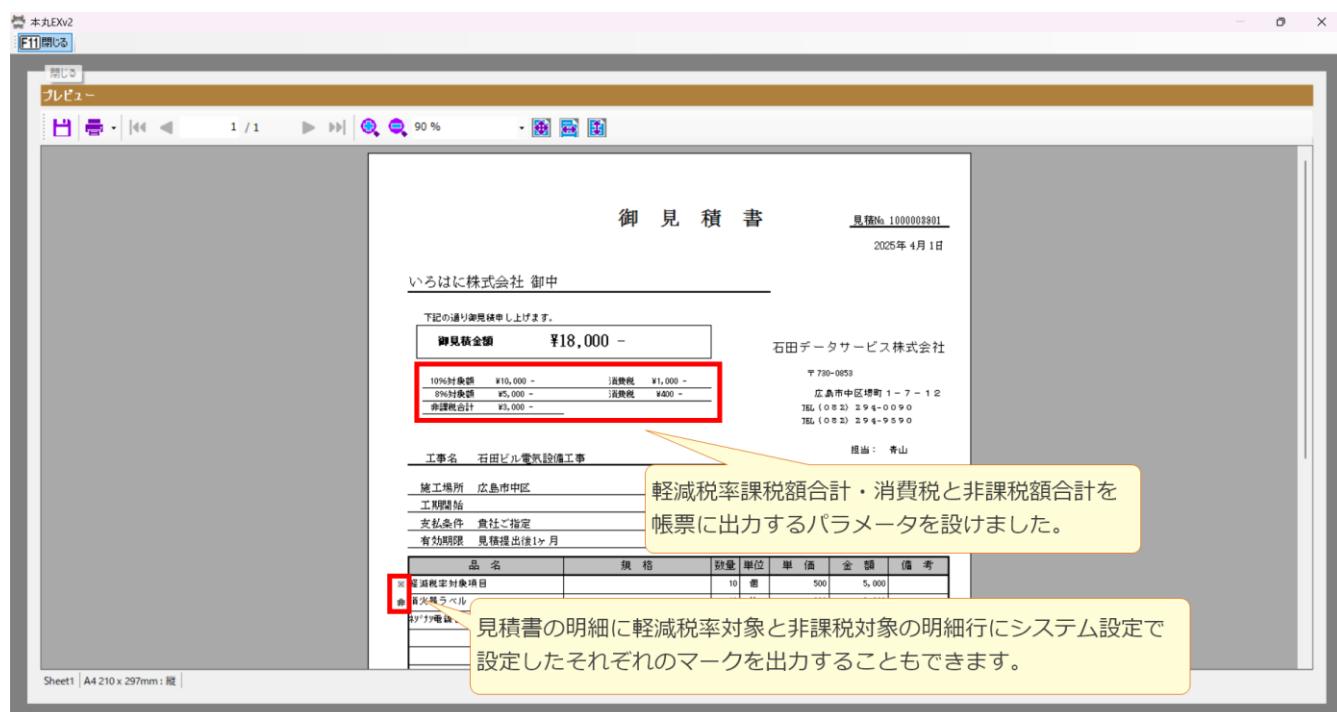
- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| ① 「標準課税額合計」   | **h_hyojuntaisyo        |
| ② 「標準消費税額」    | **h_hyojunsyohizei      |
| ③ 「軽減税率課税額合計」 | **h_keigentaisyo        |
| ④ 「軽減税率消費税額」  | **h_keigensyohizei      |
| ⑤ 「非課税額合計」    | **h_hikazei             |
| ⑥ 「軽減税率」      | **h_keigensyohizeiritsu |

#### 【明細印刷部】

#### 印刷パラメータ名

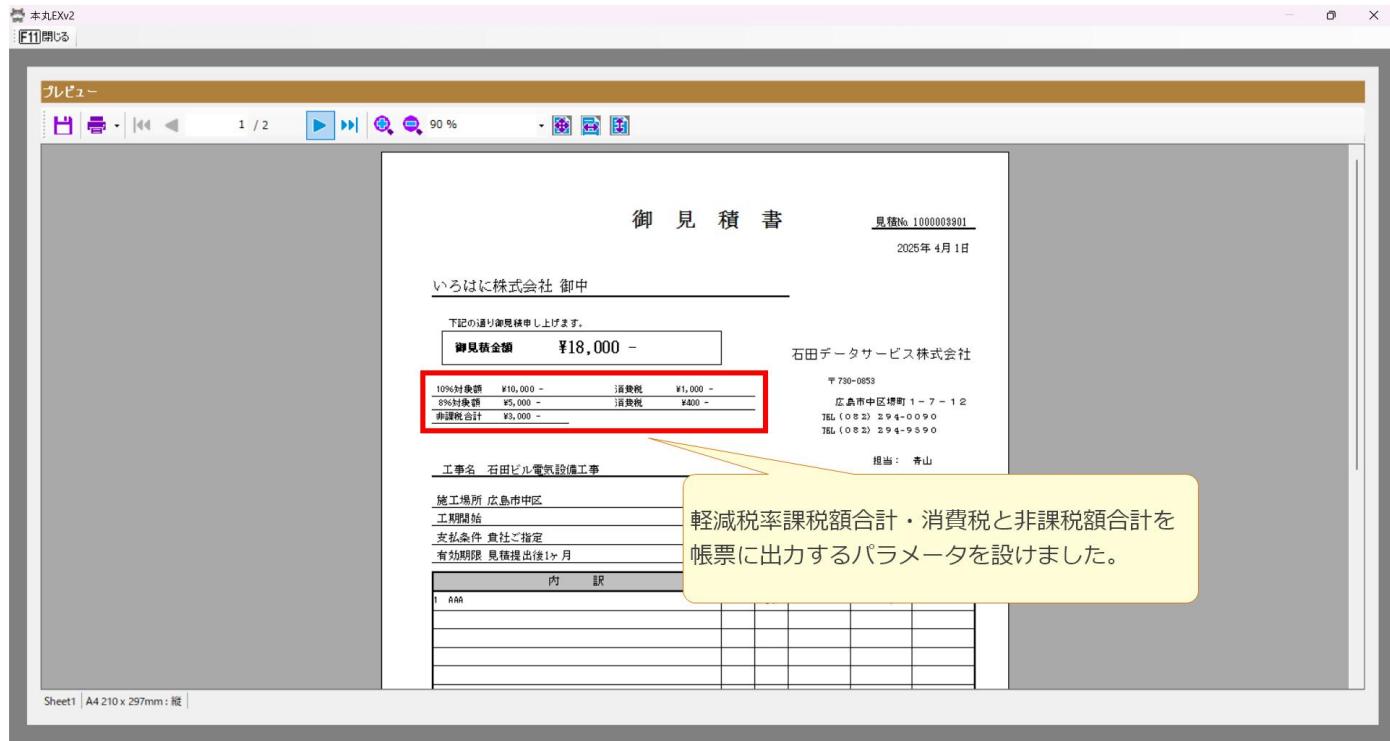
- |            |                |
|------------|----------------|
| ① 「税区分マーク」 | **h_zeimark01～ |
|            | **s_zeimark01～ |
|            | **m_zeimark01～ |

(軽減税率対象と非課税対象の明細にシステム設定より取得した「固定文字」をセットします)

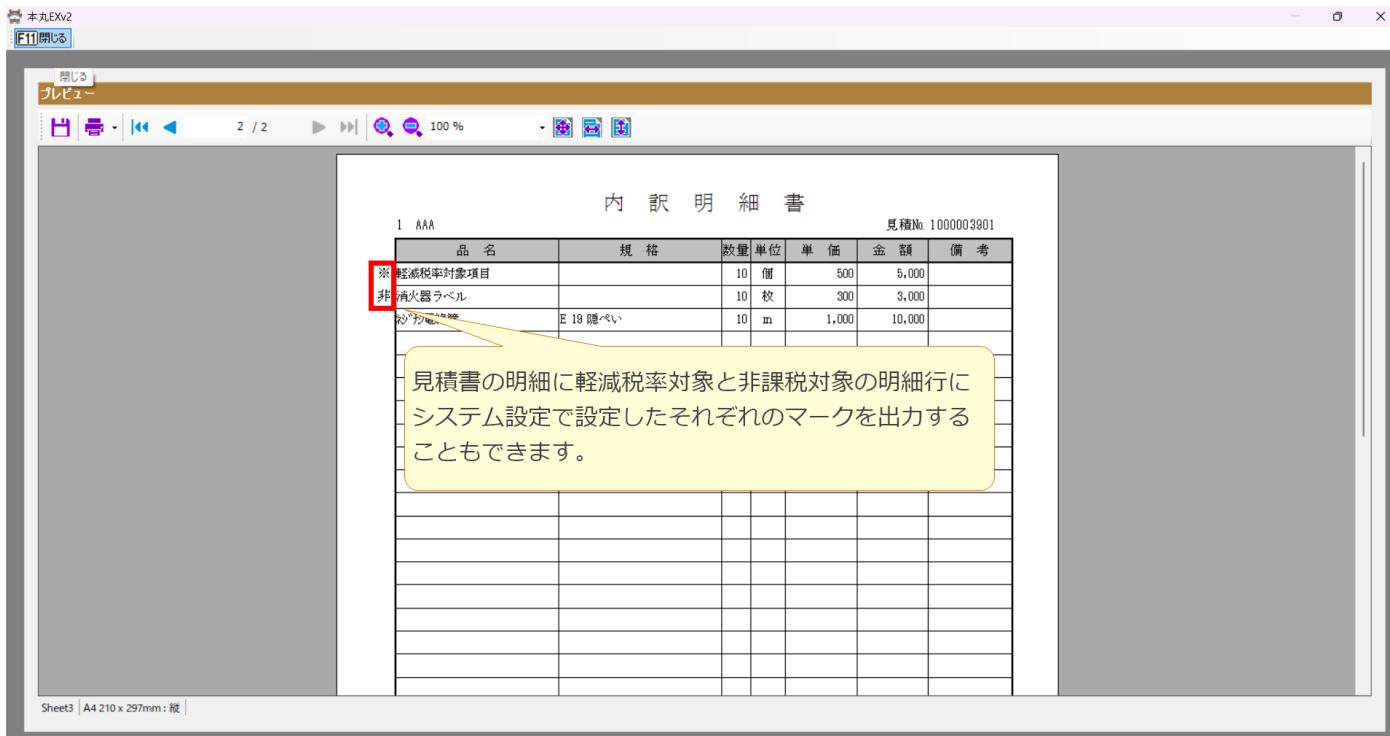


課税を考慮した税率別に集計し、表紙画面や見積書に出力できるようになりました。

## ステップ4. 見積書（総括付）を印刷します。



## ステップ5. 見積書（総括付）を印刷します。



### 3：二の丸連携時、受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

#### ステップ 1. 税別契約欄を表示します。

(A)

通常税率と軽減税率はシステム設定から取得しセットします。

工期終了日> 見積日> 更新日の順で、システム設定の消費税率の施工日と比較し、対象の税率、軽減税率を取得します。

(B)

税別契約を表示させると通常の契約金額は入力不可となります。

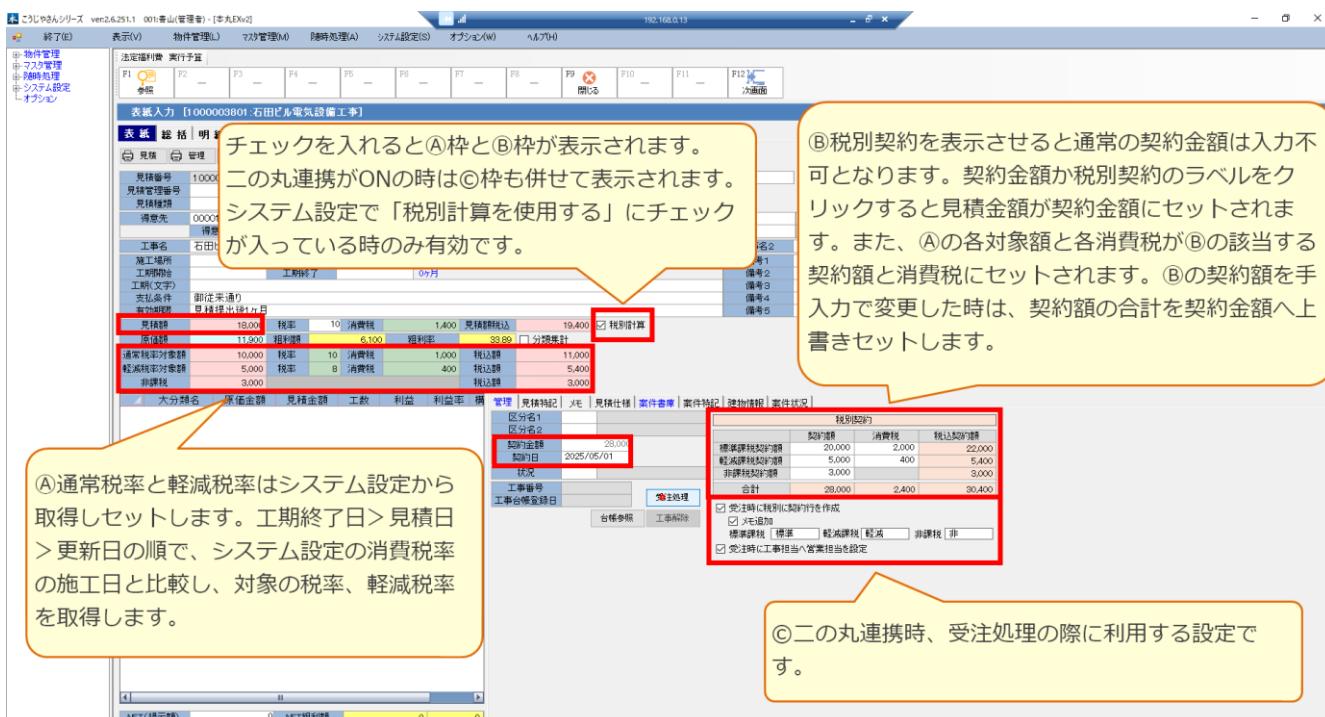
契約金額か税別契約のラベルをクリックすると見積金額が契約金額にセットされます。

また、Ⓐの各対象額と各消費税がⒷの該当する契約額と消費税にセットされます。

Ⓑの契約額を手入力で変更した時は、契約額の合計を契約金額へ上書きセットします。

(C)

二の丸連携時、受注処理の際に利用する設定です。



## ステップ2. 受注処理画面を開きます。

ごじゅさんシリーズ ver2.6.251.1 001:青山(管理者) - [本丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(U) マスク管理(M) 附帯処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

F1 Q F2 - F3 - F4 - F5 - F6 - F7 - F8 - F9 X 閉じる F10 - F11 - F12 次画面

法務判断 実行予算

物件登録 参照

物件管理 領内管理 領内登録 領内登録登録

オプション

表紙 拡大 | 紹介

見積 管理 実行予算

受注処理

見積番号 1000009801 見積日 2025/04/01  
見積管理番号 物件登録日 2025/04/01  
見積種類 物件更新日 2025/04/01

得意先 00001 青田興業有限会社  
工事名 石田ビル電気設備工事  
施工場所 工期開始  
工期終了  
工期(文字)  
支払条件  
支払期限  
支払期限  
見積提出日  
見積提出日  
見積額 18,000 税率 10 消費税  
原価額 11,900 税利潤 6,100  
通常税率合計額 10,000 税率 10 消費税  
軽減税率合計額 5,000 税率 8 消費税  
非課税 3,000

大分類名 原価金額 見積額 工数

受注処理画面の税別契約欄に標準課税・軽減課税・非課税の税率別に契約額と消費税がセットされます。

注文書 ○有 ●無  
契約書 ○有 ●無  
出来高工事 ○有 ●無  
前受金 ○有 ●無

工事担当 001 青山  
工事部門 001 本社

新規工事番号 1600002380 左記の工事番号で作成されます。

□ 見積番号を新規工事番号にセットする

工事番号 1600002380  
工事台帳登録日  
受注処理  
台帳参照  
工事解除  
合計 28,000

受注時に税別契約行を作成  
契約書  
標準課税  
非課税  
受注時に工事担当/管轄担当を設定

## ステップ3. 受注処理で二の丸の物件台帳を作成します。

ごじゅさんシリーズ ver2.6.251.1 001:青山(管理者) - [二の丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(U) 受注管理(O) 原価管理(C) 請求管理(R) マスク管理(M) 報表印刷(P) 附帯処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

F1 Q F2 - F3 工事登録書 F4 得意先詳細 F5 実行予算 F6 ¥ F7 請求作成 F8 - F9 登録更新 F10 - F11 X 閉じる F12 -

物件台帳 登録修正

工事番号 1600002380 □ 管理対象外 ○ 完成基準 ○ 工事進行基準  
担当者 001 青山 営業部門 001 本社  
工事担当 001 青山 工事部門 001 本社

作成日 2025/04/01 更新日 2025/04/01

受注処理で二の丸の物件台帳を作成する時、税率別に契約行を分けてセットすることができます。

受注日 契約金額 税 消費税 税込金額 メモ  
1 2025/04/01 20,000 10 2,000 22,000 標準  
2 2025/04/01 5,000 8 400 5,400 軽減  
3 2025/04/01 3,000 0 0 3,000 非  
4 0 0 0 0 0

合計 28,000 2,400 30,400

着手日 完成予定期 完成日 請求入金

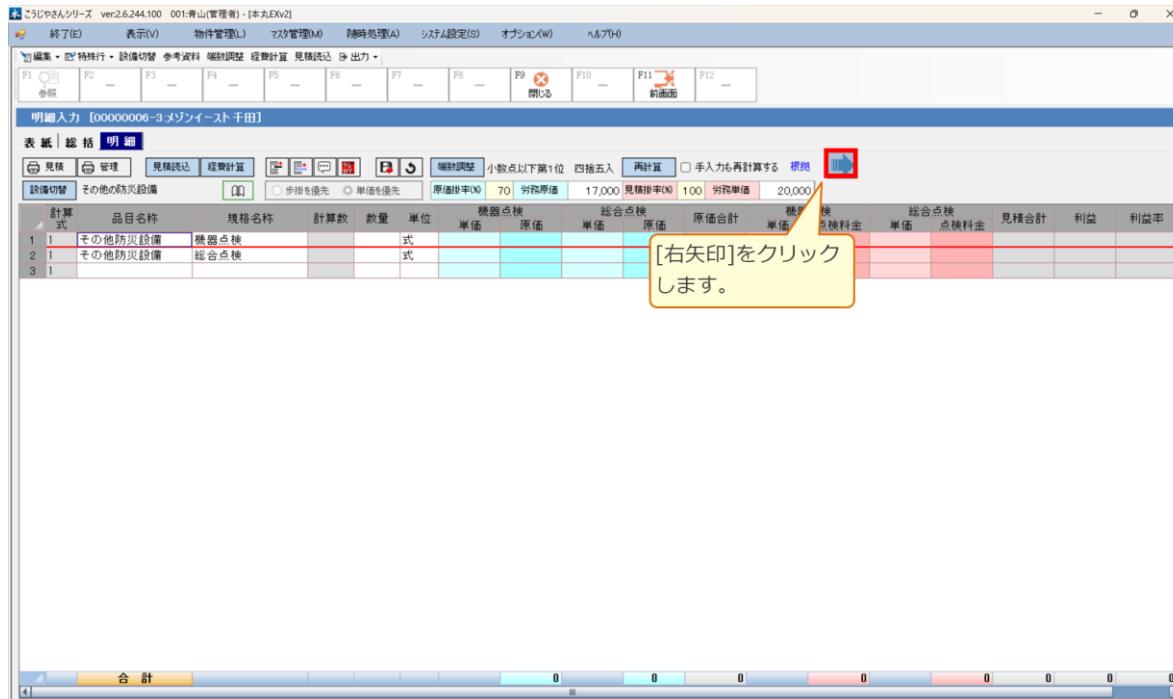
メモ 1  
メモ 2  
メモ 3  
メモ 4  
メモ 5  
メモ 6  
メモ 7  
メモ 8  
メモ 9  
請求条件

書庫管理 出来高 見積 請求明細 建物管理 作業予定  
1 ファイル名 マ コメント 種類 更新日 作成日  
1 図面 フォルダ 2024/12/16 2024/12/16  
2 写真 フォルダ 2024/12/16 2024/12/16

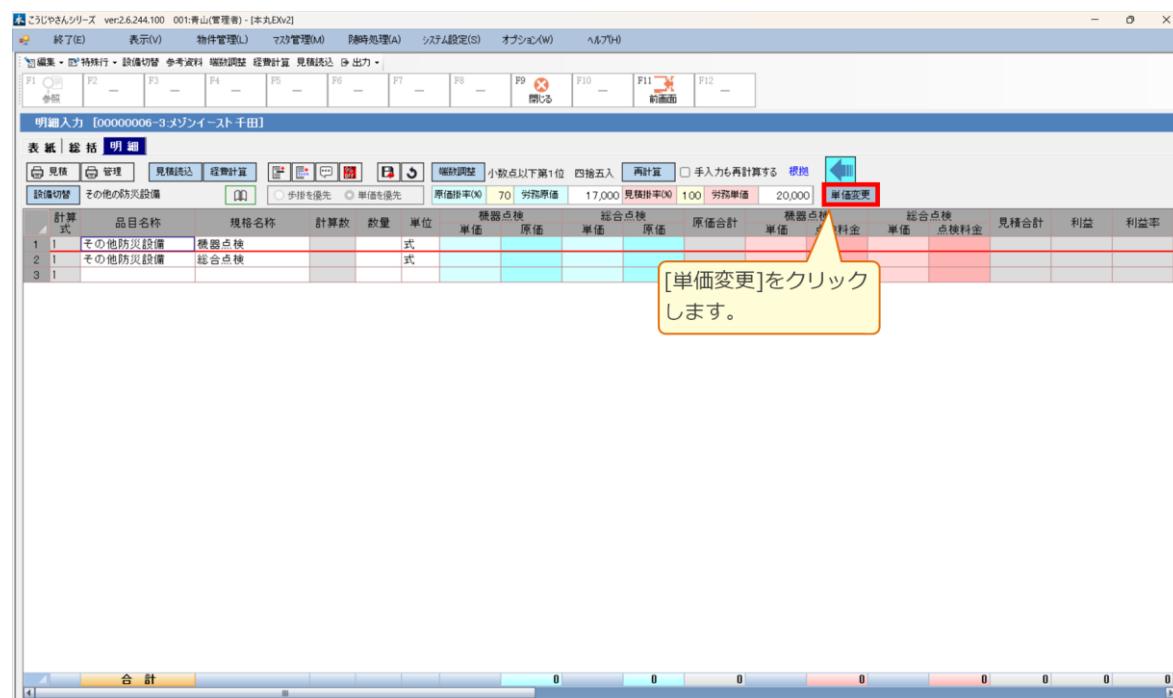
## 4：【点検見積オプション】非課税品目を見積に含めることができるようになりました。

ステップ1. 点検見積の明細画面で根拠を表示します。

明細入力画面を開いて〔右矢印〕ボタンをクリックします。

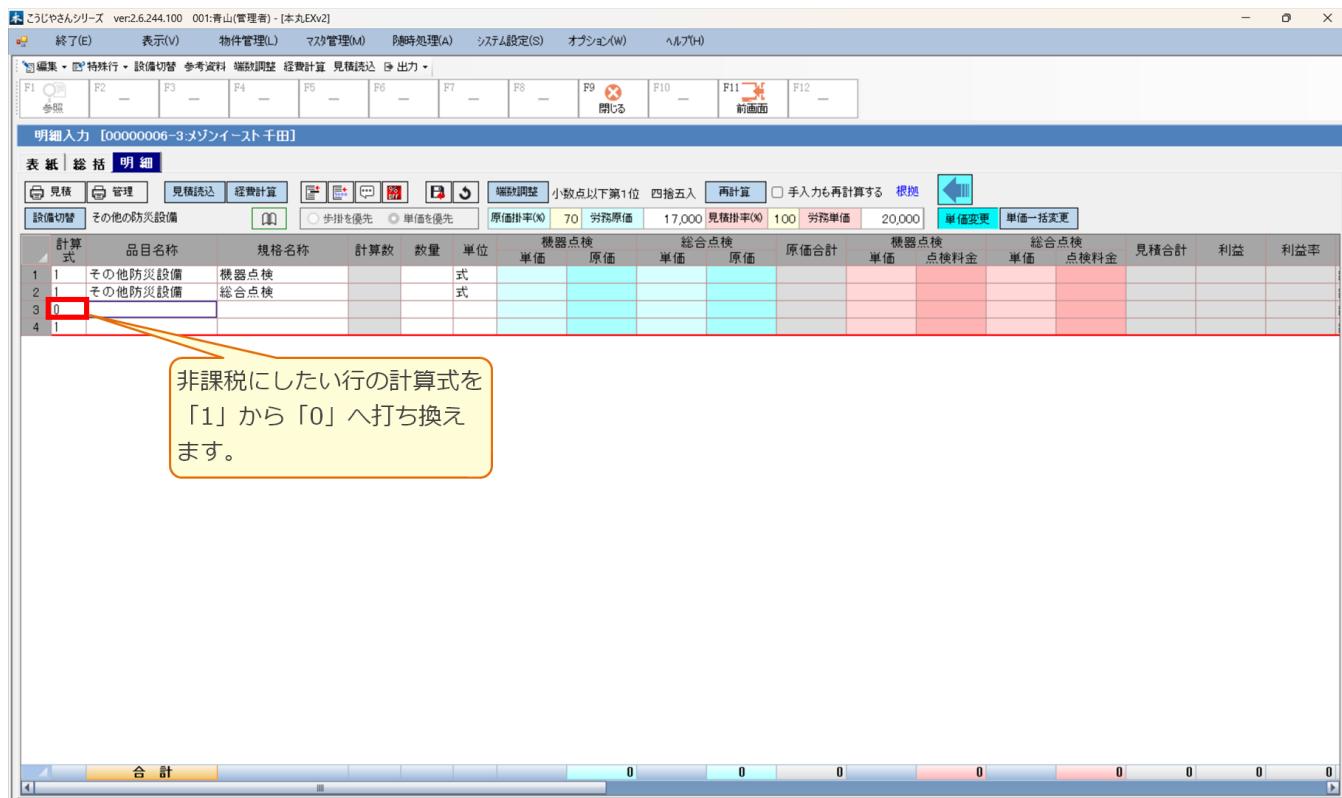


ステップ2. [単価変更]を実行します。

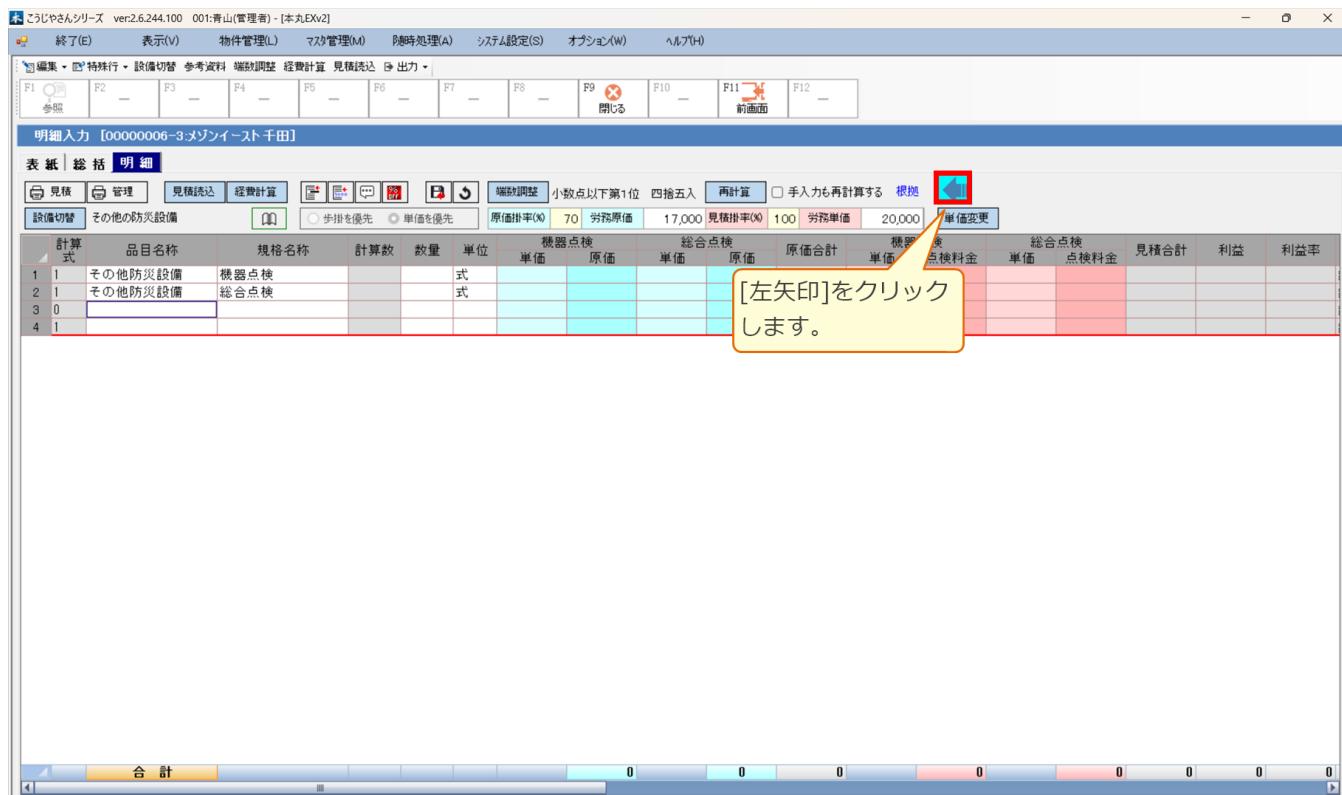


目を見積に含めることができるようになりました。

## ステップ3. 計算式を「1」から「0」へ打ち換えます。



## ステップ4. [左矢印]をクリックします。



目を見積に含めることができるようになりました。

## ステップ 5. 品目名称や規格名称、数量や単価を入力します。

ごくやさんシリーズ ver2.6.244.100 001:青山(管理者) - [本丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(L) マスク管理(M) 随時処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

編集・特殊行・設備切替 参考資料 端数調整 経費計算 見積統込 出力

F1 参照 F2 - F3 - F4 - F5 - F6 - F7 - F8 - F9 X F10 - F11 前画面 F12 -

明細入力 [00000006-3:メゾンイースト千田]

表紙 | 総括 | **明細**

見積 管理 見積統込 経費計算 フォルダ フォルダ フォルダ フォルダ 端数調整 小数点以下第1位 四捨五入 再計算  手入力も再計算する 検査

設備切替 その他の防災設備  歩掛を優先  単価を優先 原価率(%) 70 務務原価 17,000 見積率(%) 100 務務単価 20,000

計算式	品目名称	規格名称	計算数	数量	単位	機器点検		総合点検		原価合計		機器点検		総合点検		見積合計	利益	利益率
						単価	原価	単価	原価	単価	点検料金	単価	点検料金					
1 1	その他防災設備	機器点検			式													
2 1	その他防災設備	総合点検			式													
3 0	リサイクルシール			5枚								510	2,550	510	2,550	5,100	5,100	100.00
4 1																		

合計 0 0 0 2,550 2,550 5,100 5,100 100

## ステップ 6. [表紙]をクリックします。

ごくやさんシリーズ ver2.6.244.100 001:青山(管理者) - [本丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(L) マスク管理(M) 随時処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

編集・特殊行・設備切替 参考資料 端数調整 経費計算 見積統込 出力

F1 参照 F2 - F3 - F4 - F5 - F6 - F7 - F8 - F9 X F10 - F11 前画面 F12 -

明細入力 [00000006-3:メゾンイースト千田]

**[表紙]をクリックします。**

表紙 | 総括 | **明細**

見積 管理 見積統込 経費計算 フォルダ フォルダ フォルダ フォルダ 端数調整 小数点以下第1位 四捨五入 再計算  手入力も再計算する 検査

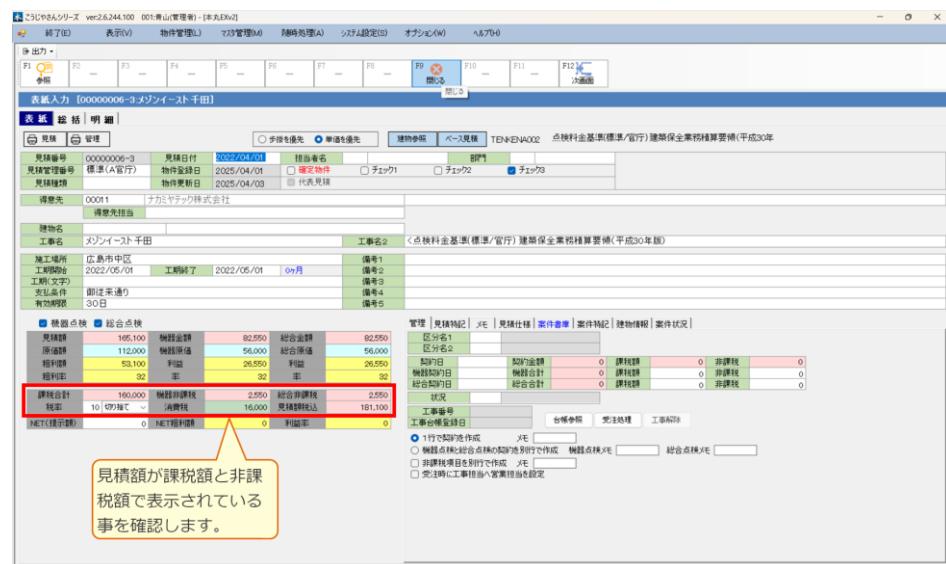
設備切替 その他の防災設備  歩掛を優先  単価を優先 原価率(%) 70 務務原価 17,000 見積率(%) 100 務務単価 20,000

計算式	品目名称	規格名称	計算数	数量	単位	機器点検		総合点検		原価合計		機器点検		総合点検		見積合計	利益	利益率
						単価	原価	単価	原価	単価	点検料金	単価	点検料金					
1 1	その他防災設備	機器点検			式													
2 1	その他防災設備	総合点検			式													
3 0	リサイクルシール			5枚								510	2,550	510	2,550	5,100	5,100	100.00
4 1																		

合計 0 0 0 2,550 2,550 5,100 5,100 100

目を見積に含めることができるようになりました。

## ステップ7. 見積額が課税額と非課税額で表示されている事を確認します。



## ステップ8. 見積書を出力した時も見積額が課税額と非課税額で表示されている事を確認します。

見積書テンプレート以下のパラメータ値を与える事で印刷時に項目を追加出力する事ができます。

「機器課税額」 \*\*h\_kikikazei 「総合課税額」 \*\*h\_sougokazei

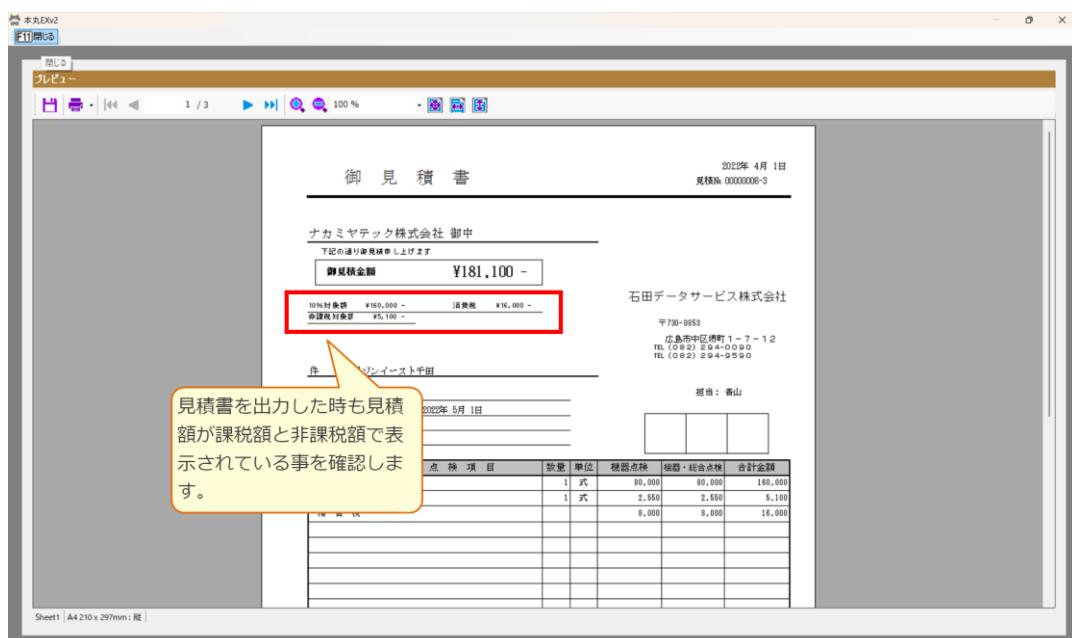
「機器非課税額」 \*\*h\_kikihikazei 「総合非課税額」 \*\*h\_sougozikazei

物件総括テンプレートの場合は以下のパラメータ値になります。

「課税額合計」 \*\*bh\_kazei 「非課税額合計」 \*\*bh\_hikazei

「機器課税額」 \*\*bh\_kikikazei 「総合課税額」 \*\*bh\_sougokazei

「機器非課税額」 \*\*bh\_kikihikazei 「総合非課税額」 \*\*bh\_sougozikazei



## 5：【点検見積オプション】受注処理で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

ステップ1. 契約日に工事を受注した日付と契約金額を入力します。

ごじやさんシリーズ ver2.6.244.100 001:青山(管理者) - [本丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(L) マスク管理(M) 隨時処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

F1 参照 F2 - F3 - F4 - F5 - F6 - F7 - F8 - F9 閉じる F10 - F11 - F12 次画面

表紙 総括 明細

見積 管理

見積番号 00000006-4 見積日付 2022/04/09 担当者名 001 青山 部門 001 本社

見積管理番号 標準(A官厅) 物件登録日 2025/04/09  確定物件  チェック1  チェック2  チェック3

見積種類 物件更新日 2025/04/09  代表見積

得意先 000011 ナカミヤテック株式会社

得意先担当

建物名 メゾンイースト千田 工事名2 <点検料金基準(標準/官厅) 建築保全業務積算要領(平成30年版)

施工場所 広島市中区 備考1

工期開始 2022/05/01 工期終了 2022/05/01 0ヶ月 備考2

工期(文字) 備考3

支払条件 御往来通り 備考4

有効期限 30日 備考5

機器点検  総合点検

見積額	165,100	機器金額	82,550	総合金額	82,550
原価額	117,100	機器原価	58,550	総合原価	58,550
粗利額	48,000	利益	24,000	利益	24,000
粗利率	29	率	29	率	29
課税合計	160,000	機器非課税	2,550	総合非課税	2,550
税率	10% 切り捨て	消費税	16,000	見積額税込	160,000

NET(提示額) 0 NET粗利額 0 利益率

契約日 2022/04/27 契約金額 165,100 課税額 160,000 非課税 5,100

機器契約日 機器合計 82,550 課税額 80,000 非課税 2,550

総合契約日 総合合計 82,550 課税額 80,000 非課税 2,550

契約日に工事を受注した日付を入力した後、  
[契約金額]をクリックして契約金額等（契約  
金額・課税額ほか）を自動表示させます。

で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

## ステップ2. [受注処理]をクリックします。

税別契約欄の設定 (①と②に関しては、どちらかのみ選択できます。)

## ① 「1行で契約を作成」

二の丸の物件台帳の契約金額に契約合計額（機器点検と総合点検の契約合計額）を表記します。

## ② 「機器点検と総合点検を別行で作成」

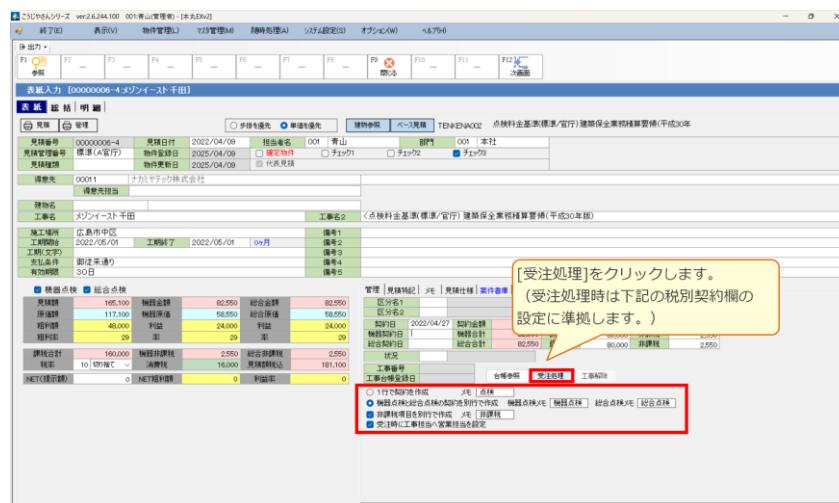
二の丸の物件台帳の契約金額に機器点検と総合点検の契約額をそれぞれ別行で表記します。

## ③ 「非課税項目を別行で作成」

非課税項目がある場合は、二の丸の物件台帳の契約金額に別行で表記します。

## ④ 「受注時に工事担当へ営業担当を設定」

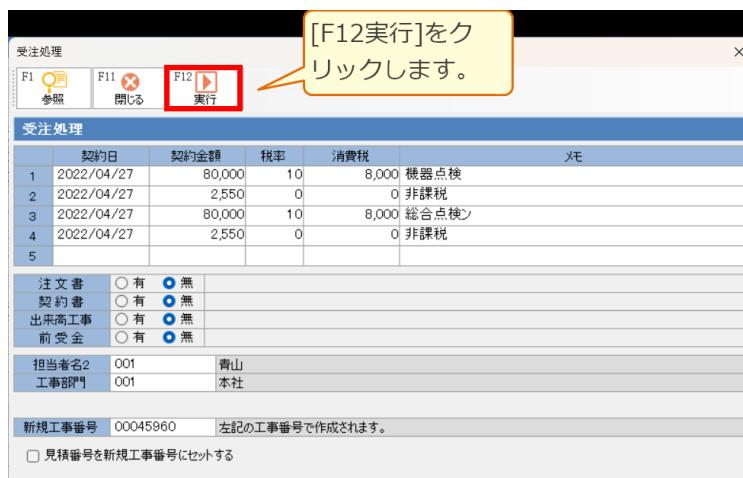
担当者名を二の丸の物件台帳の担当者（工事担当）へ表記します。



## ステップ3. 契約内容を確認して[F12 実行]をクリックします。

この契約内容は税別契約欄の設定の②「機器点検と総合点検を別行で作成」および

③「非課税項目を別行で作成」にチェックを入れて [受注処理]をクリックした場合の内容です。



で二の丸の物件台帳の契約金額を税率別に作成できるようになりました。

## ステップ4. 作成された物件台帳を確認するため[台帳参照]をクリックします。

ごくじやさんシリーズ ver.2.6.244.100 001:青山(管理者) - [本丸Exv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(L) マスク管理(M) 附録処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

出力 F1 参照 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 閉じる F10 F11 F12 次画面

表紙 総括 明細

見積 管理 ○歩掛を優先 ○単価を優先 建物参照 ベース見積 TENKENA002 点検料金基準(標準/官庁)建築保全業務積算要領(平成30年)

見積番号 00000006-4 見積日付 2022/04/09 担当者名 001 青山 部門 001 本社

見積管理番号 標準(A官庁) 物件登録日 2025/04/09 確定物件 チェック1 チェック2 チェック3

見積種類 物件更新日 2025/04/09 代表見積

得意先 00011 ナカミヤテック株式会社

建物名 メゾンイースト千田 工事名2 <点検料金基準(標準/官庁)建築保全業務積算要領(平成30年版)

施工場所 広島市中区 工期開始 2022/05/01 工期終了 2022/05/01 0ヶ月

工期(文字) 延期: 延期3 延期4 延期5

支払条件 御往来通り 有効期限 30日

機器点検 総合点検

見積額	165,100	機器金額	82,550	総合金額	82,550
原価額	117,100	機器原価	58,550	総合原価	58,550
粗利額	48,000	利益	24,000	利益	24,000
粗利率	29	率	29	率	29
課税合計	160,000	機器非課税	2,550	総合非課税	2,550
税率	10 切り捨て	消費税	16,000	見積額税込	181,100
NET(提示額)	0	NET粗利額	0	利益率	0

管理 | 見積特記 | メモ | 見積仕様 | 案件書類 | 案件特記 | 建物情報 | 案件状況 |

区分名1 区分名2

契約日 2022/04/27 契約金額 5,100

機器契約日 機器合計 2,550

総合契約日 総合合計 2,550

状況

工事番号 00045960 **台帳参照** 受注処理 | 工事解除

1行で契約を作成 メモ [点検]  
機器点検と総合点検の契約を別行で作成 機器点検メモ [機器点検] 総合点検メモ [総合点検]  
非課税項目を別行で作成 メモ [非課税]  
完了時に工事担当へ営業担当を設定

## ステップ5. 物件台帳を確認します。

二の丸Exv2

F1 参照 F2 カテナス F3 - F4 - F5 - F6 - F7 - F8 - F9 登録更新 F10 - F11 閉じる F12 -

物件台帳 登録修正

工事番号 00045960 管理対象外 完成基準 工事進行基準 作成日 2025/04/09 更新日 2025/04/09

担当者名 001 青山 営業部門 001 本社 担当者名2 001 青山 工事部門 001 本社

工事名称 メゾンイースト千田 <点検料金基準(標準/官庁)建築保全業務積算要領(平成30年版)

受注先 00011 ナカミヤテック株式会社

工 期

施工場所 広島市中区

支払条件

有効期限

工事区分1 工事区分2

契約日	契約金額	率	消費税	税込金額	メモ
1 2022/04/27	80,000	10	8,000	88,000	機器点検
2 2022/04/27	2,550	0	0	2,550	非課税
3 2022/04/27	80,000	10	8,000	88,000	総合点検
4 2022/04/27	2,550	0	0	2,550	非課税

見積時原価	予算金額	実注金額	原価金額	消化率
材料	0	0	0	0.0
労務	0	0	0	0.0
外注	0	0	0	0.0
経費	0	0	0	0.0
合計	0	0	0	0.0
粗利	165,100	165,100	165,100	100.0
粗利率	100.0	100.0	100.0	100.0

合計 165,100 16,000 181,100

着工日 2022/05/01 完成予定期 2022/05/01 請求 0 0.0  
 引渡日 完成日 2022/05/01 入金 0 0.0

メモ 1  
 メモ 2  
 メモ 3  
 メモ 4  
 メモ 5  
 メモ 6  
 メモ 7  
 メモ 8  
 メモ 9  
 請求条件

書庫管理 | 出来高 | 見積 | 請求明細 | 建物管理 | 実行承認 | 作業予定 |

ファイル名	コメント	種類	更新日	作成日
1 図面	2025/04/09	2025/04/09	2025/04/09	2025/04/09
2 写真	2025/04/09	2025/04/09	2025/04/09	2025/04/09

## 6 : Ver2.6.252.1 以降 新機能

ステップ 1 .

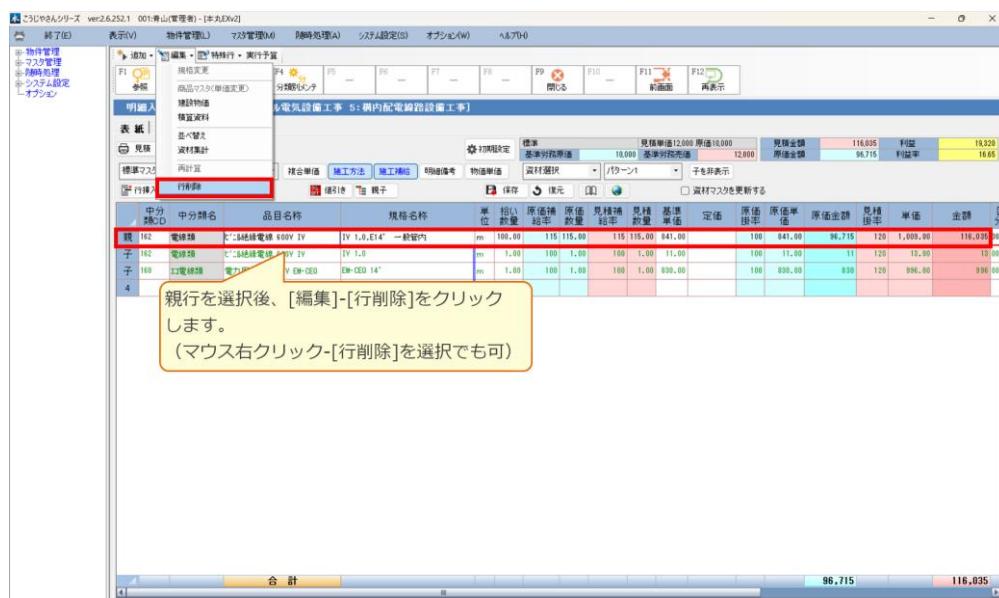
本丸EX v2 Ver.2.6.252.1 以降

新機能 操作マニュアル

## 7：親子の明細で、親行のみ選択した状態で親子のセットを削除できるようになりました。

### ステップ1．削除したい親子設定の親行を選択します。

今まで親子設定の親行のみを選択して削除しようとすると「子行があるため削除できません。」とメッセージが出て削除不可になっていましたが、Ver.2.6.252.1 以降は親行のみの選択で子行やコメント行を含めて削除が可能になりました。

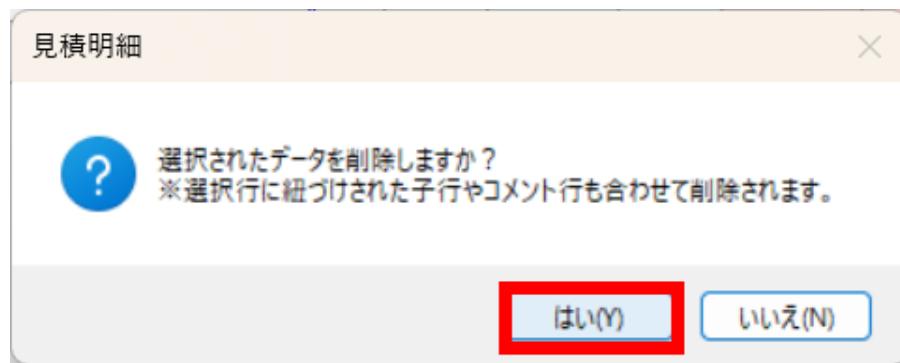


### ステップ2．[はい]をクリックします。

選択したデータの削除の可否を訊いてきます。

[はい]をクリックします。

[はい]を選択すると紐づけされた子行やコメント行も合わせて削除されますので気を付けてください。



状態で親子のセットを削除できるようになりました。

## ステップ3. 親行・子行（コメント行があればこちらも）消えた事を確認します。

明細入力 [IDS0000301:橋本ビル電気設備工事 5:構内配電線路設備工事]

表紙 | 総括 | **明細**

見積	管理	実行予算	初期設定	標準	見積単価12,000	原価10,000	見積金額	0	利益	0							
標準マスク	複合単価	施工方法	施工補助	基準労務原価	10,000	基準労務単価	12,000	原価金額	0	利益率	0.00						
標準マスク	複合単価	施工方法	施工補助	明細備考	物価単価	資材選択	パワーン1	子を非表示									
行挿入	計挿入	コメント	備考	親子	保存	復元	戻る	資材マスクを更新する									
中分類ID	中分類名	品目名称	規格名称	単位	拾い数量	原価単価	原価数量	見積単価	見積数量	基準単価	定価	原価単価	原価数量	原価金額	見積単価	単価	金額
1																	

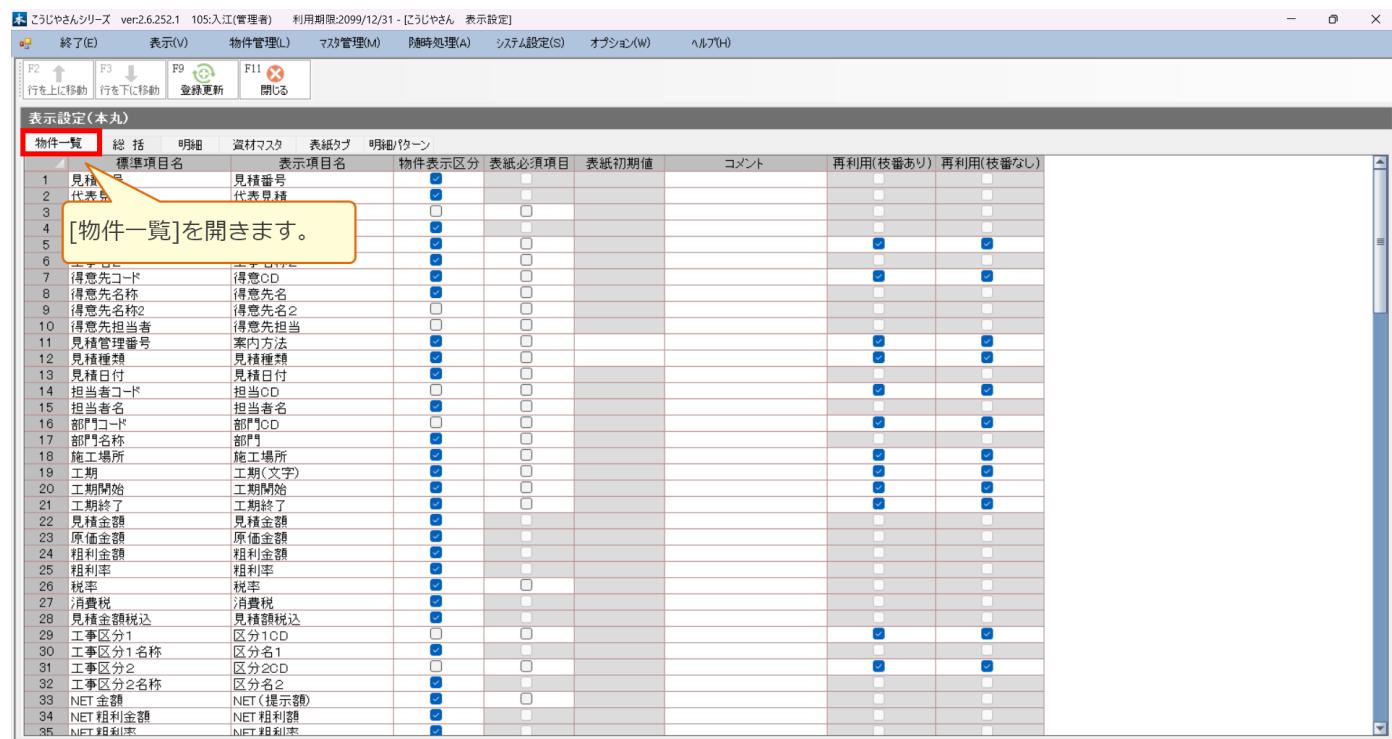
合計

## 8：物件を再利用する時、複写したい項目を設定できるようになりました。

ステップ 1. [システム設定] - [表示設定(本丸)]をクリックします。



ステップ 2. [物件一覧]を開きます。



項目を設定できるようになりました。

## ステップ3. 複写したい項目にチェックを付けます。

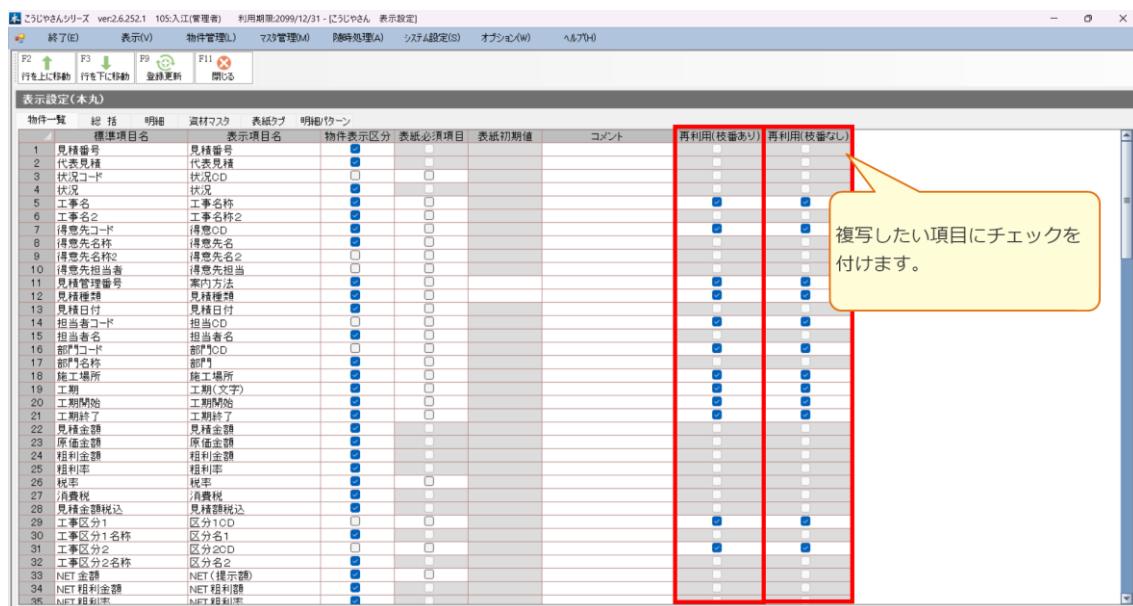
[再利用(枝番あり)]と[再利用(枝番なし)]の2項目から再利用項目を別々に設定します。

複写したい項目にチェックを付けます。

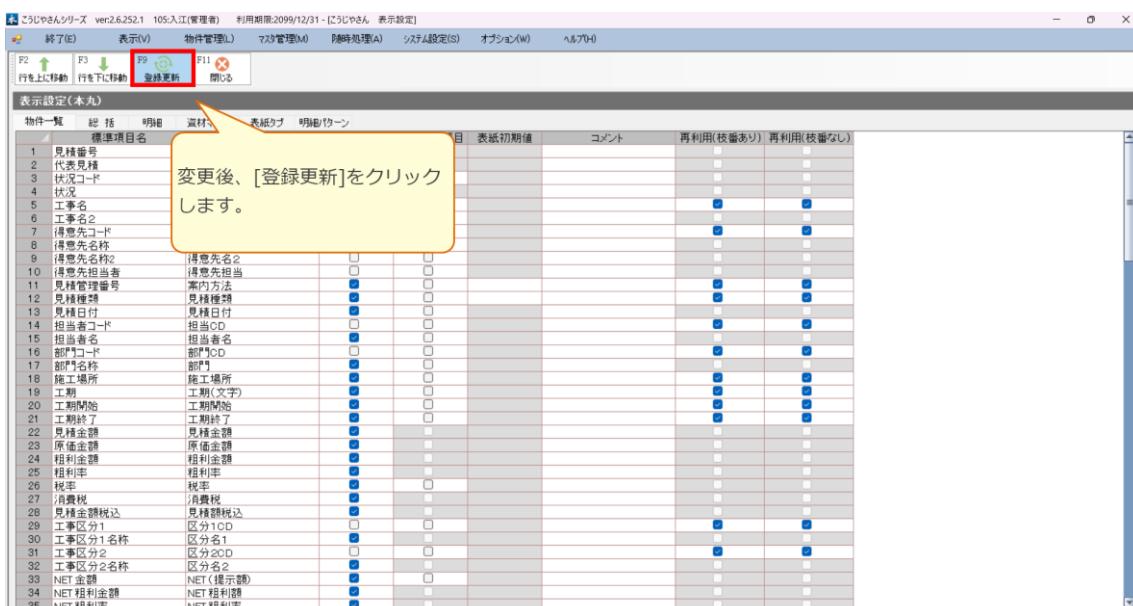
システム上、複写できない項目はチェックを付けることができません。

コードと名称がある項目は、コードのみチェックを付けることで、コードと名称両方を複写対象にします。

また、コードが未入力で名称のみ入力されている場合も複写します。

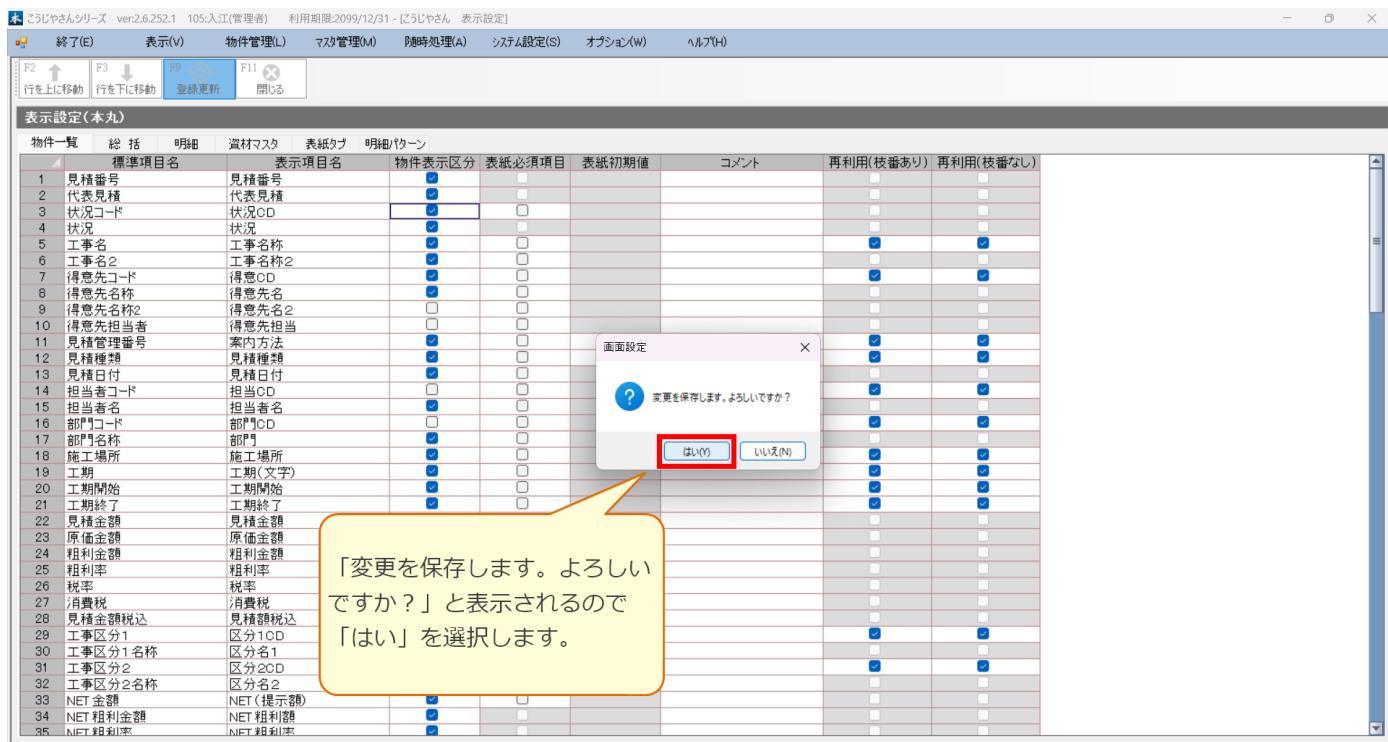


## ステップ4. 変更後、[登録更新]をクリックします。



項目を設定できるようになりました。

ステップ 5. 「変更を保存します。よろしいですか？」と表示されるので「はい」を選択します。



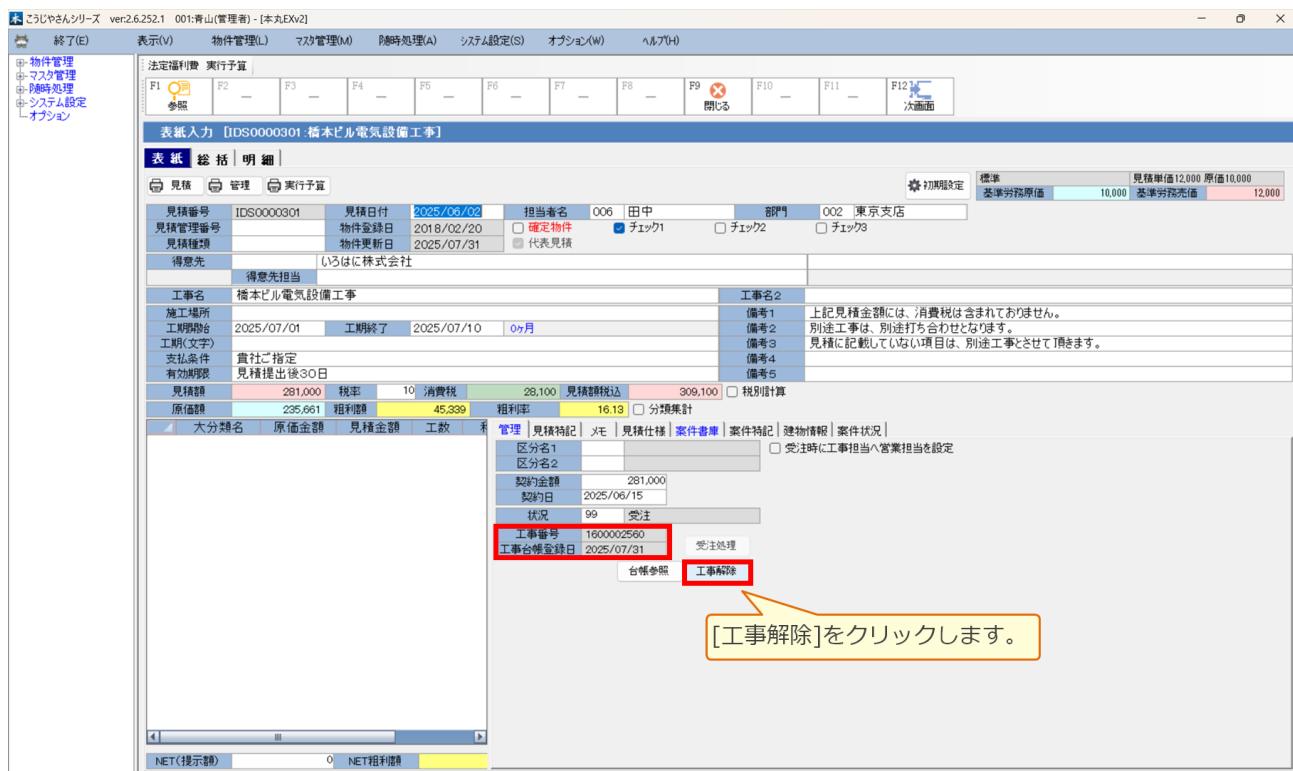
## 9：二の丸側で工事台帳の見積番号を削除しなくても、本丸で工事解除できるように改善しました。

### ステップ1. [工事解除]をクリックします。

今まで二の丸側で工事台帳の見積番号を削除すると工事解除ができるようになっていましたが、Ver.2.6.252.1 以降は二の丸側で工事台帳の見積番号の削除に関わらず、本丸で工事解除が可能になりました。

#### 【[工事解除]ボタンが有効になる条件】

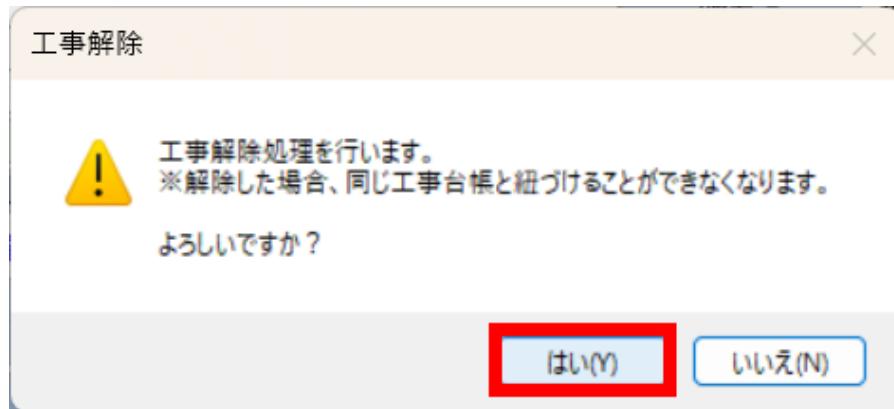
- 受注処理の実行権限を有している事  
( [システム設定]-[パスワード設定]-[パスワード設定]-  
物件一覧の詳細設定で「受注処理を不可にする」にチェックが付いていない事)
- 紐付いている工事台帳が未完工事である事
- 紐付いている工事台帳の実行承認状態が未申請である事



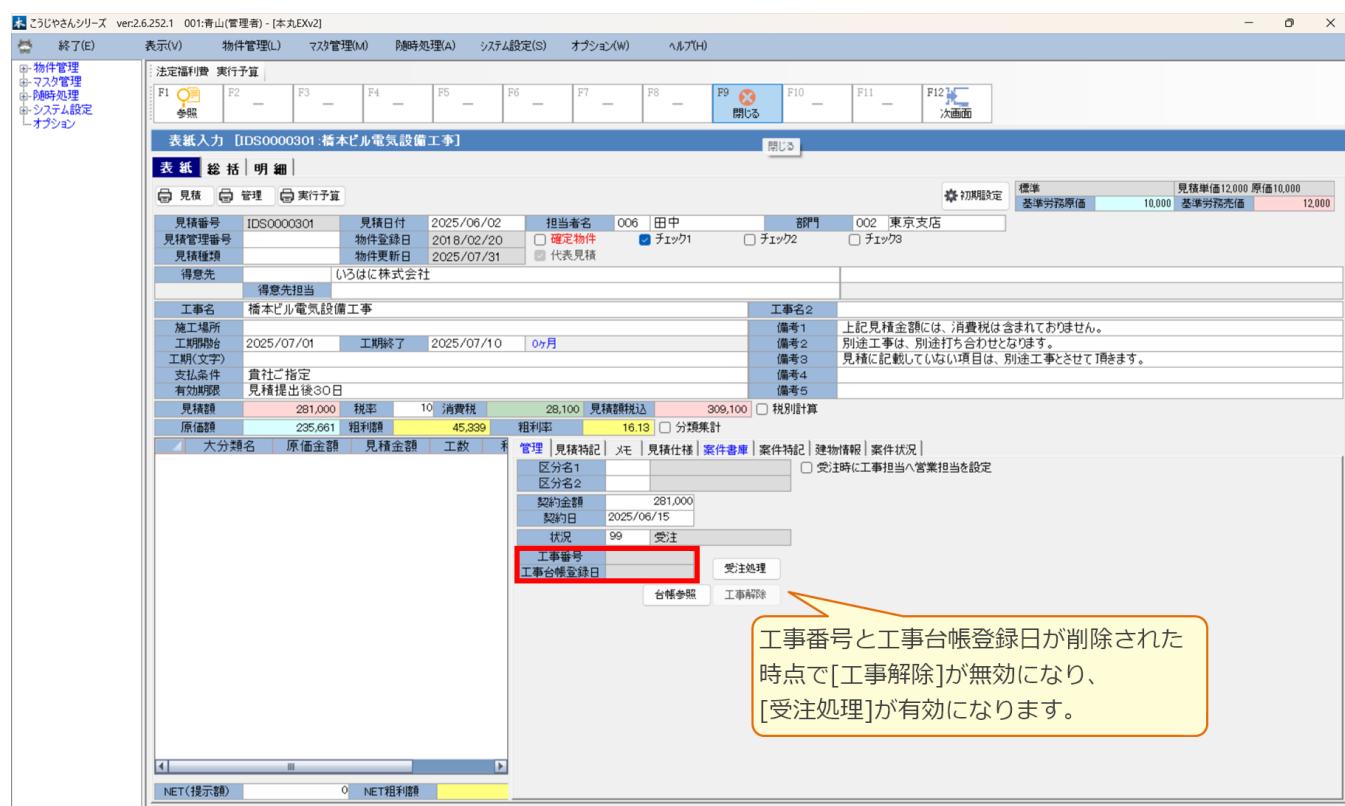
## ステップ2. [はい]をクリックします。

工事解除処理の可否を訊いてきます。

[はい]をクリックします。



## ステップ3. 工事番号と工事台帳登録日が削除された事を確認します。



削除しなくても、本丸で工事解除できるように改善しました。

## ステップ 4. 二の丸側の工事台帳を開いて見積情報が消えた事を確認します。

ごじやさんシリーズ ver.2.6.252.1 001春山(見積書) - [二の丸EXv2]

終了(E) 表示(V) 物件管理(L) 発注管理(O) 原価管理(C) 請求管理(R) マスク管理(M) 横票印刷(P) 附録処理(A) システム設定(S) オプション(W) ヘルプ(H)

物件管理 • D 出力 •

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

物 件 台 帳 登 録 修 正

登録

作成日 2025/07/31 更新日 2025/07/31

工事番号 1600002560 管理対象外 完成基準 工事進行基準

担当者 006 田中 営業部門 002 東京支店

工事担当 006 田中 工事部門 002 東京支店

工事名 横本ビル電気設備工事

得意先 工期

摘要1 摘要2 摘要3

工事区分1 工事区分2

注文書 有 契約書 有 施工履歴 有

出発地工事 有 前受金 有

前受金 有

一般管理費 10.0 28100

予定利益 90.0 252900

実行利益 90.0 252900

契約日 計約金額 税率 消費税 税込金額 メモ

1 2025/06/15	281,000	10	28,100	309,100	
2	0	0	0	0	

見積価値 予算金額 発注金額 原価金額 消化率

材料 48,000 0 0 0 0.00

外注 162,100 0 0 0 0.00

人件 0 0 0 0 0.00

経費 25,527 0 0 0 0.00

合計 235,661 0 0 0 0.00

粗利 45,339 281,000 281,000 281,000

粗利率 16.1 100.0 100.0 100.0

合計 281,000 28,100 309,100

着工日 2025/07/01 完成予定日 2025/07/10 請求入金 0.00

引渡日 0.00

請求先コード 住所 入金予定日

受注先セレクト

メモ 1  
メモ 2  
メモ 3  
メモ 4  
メモ 5  
メモ 6  
メモ 7  
メモ 8  
メモ 9  
請求条件

二の丸側の工事台帳を開いて見積番号・見積日付・見積金額等が削除された事を確認します。

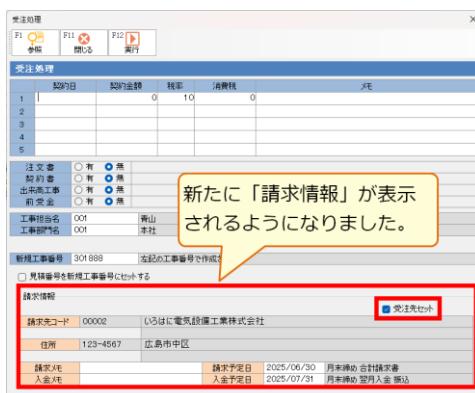
画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

## 10：【二の丸連携あり】「受注処理」画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

### ステップ1. 「受注処理」画面

二の丸の「物件台帳」に「請求先情報」欄が追加されたことに伴い、本丸から「受注処理」を行う際に、「得意先」と「請求先」が異なる場合など、あらかじめ「請求先情報」を入力しておくことで、物件台帳に反映させることができます。

「得意先」と「請求先」が同じ場合は、「団受注先セット」にチェックを付けることで、「受注先（得意先）」の情報をセットします。



### ステップ2. 設定方法は、[システム設定(S)]-[システム設定]をクリックします。



画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

### ステップ3. [システム設定]-[特殊ルーチン]タブをクリックします。

「□受注時に請求情報を登録する」にチェックを付けると「請求先情報」欄が表示されます。

ただし、二の丸側の「□物件台帳の請求先情報を使用しない。」にチェックが付いている時は、この設定は無効状態になり、チェックを付けることはできません。



### ステップ4. 「表紙」入力画面の[受注処理]ボタンをクリックします。

見扱番号	0000000603	見扱日付	2025/07/31	担当者名	001 青山	部門	001 本社		
見扱管理番号		物件登録日	2025/07/31	確定物件	<input type="checkbox"/> チェック1	<input type="checkbox"/> チェック2	<input type="checkbox"/> チェック3		
見扱種類		物件更新日	2025/07/31	代表見扱					
得意先	00002 いらばに電気設備工業株式会社	得意先担当	佐々木						
工事名	工事名: 第五ビル改修工事	工事名2		備考1	即見除外部事項・即見扱条件は別紙を参照ください。				
施工場所	広島市中区	工事開始日	2025/05/21	工事終了日	2025/06/30	ヶ月	見扱に記載していない項目は、別途工事とさせて頂きります。		
工期開始									
工期(文字)									
支払条件	即徴収(通) 見扱提出後1ヶ月			備考2					
有効期限				備考3					
見扱額	495,000	税率	10	消費税	49,500	見扱額税込	544,500	<input type="checkbox"/> 税別計算	
原価額	385,000	粗利額	160,000	相利率	82.82	□ 分担集計			
大分類名		原価額	見扱額	工数	利益	利益率	構成率		
<input type="checkbox"/> 管理 <input type="checkbox"/> 見扱特記 <input type="checkbox"/> ノモ <input type="checkbox"/> 見扱仕様 <input type="checkbox"/> 案件登記 <input type="checkbox"/> 建物情報 <input type="checkbox"/> 案件状況 <input type="checkbox"/> 受注時に工事担当へ管轄担当を設定 区分名1 1001 電気工事 区分名2 2103 建物・元請 約款金額 約款日 状況 工事番号 工事台帳登録日									
台帳参照 <input type="checkbox"/> 受注処理 <input type="checkbox"/> 工事削除									

画面に「請求情報」欄を表示し、入力した内容を二の丸の「物件台帳」の「請求情報」欄に反映させることができます。

ステップ5. 「受注処理」画面の下に「請求情報」が表示されました。

入力した内容は二の丸物件台帳の請求情報に反映します。

受注処理

F1 参照 F11 閉じる F12 実行

	契約日	契約金額	税率	消費税	メモ
1		0	10	0	
2					
3					
4					
5					

注文書	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
契約書	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
出来高工事	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
前受金	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	

工事担当名	001	青山
工事部門名	001	本社

新規工事番号 301888 左記の工事番号で作成されます。

見積番号を新規工事番号にセットする

請求情報

受注先セット

請求先コード	00002	いろはに電気設備工業株式会社
住所	123-4567	広島市中区
請求メモ		請求予定日 2025/06/30 月末締め 合計請求書
入金メモ		入金予定日 2025/07/31 月末締め 翌月入金 振込

「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになります。

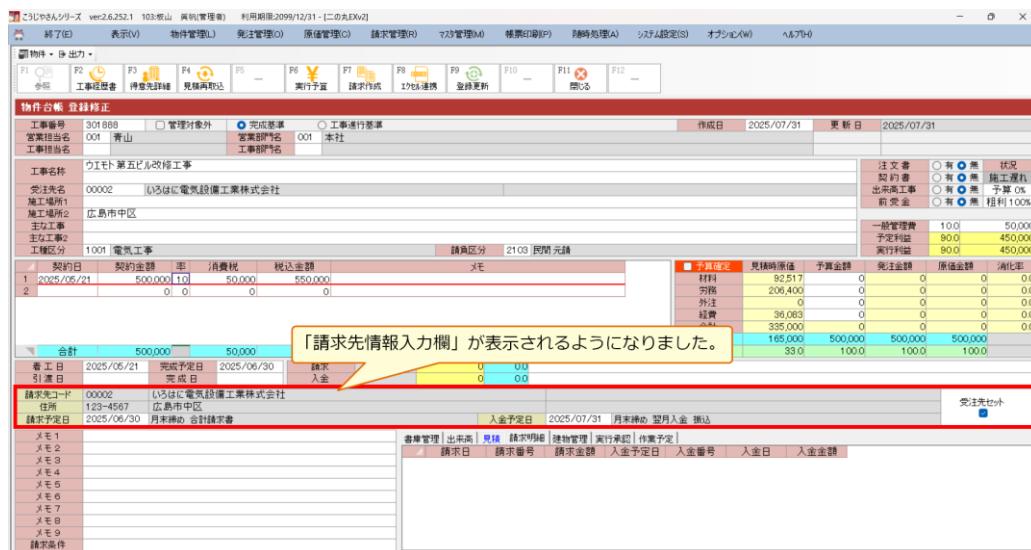
## 11：【二の丸連携あり】受注処理後に「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになりました。

ステップ1. 「台帳参照」ボタンをクリックして「物件台帳登録修正」画面を開きます。

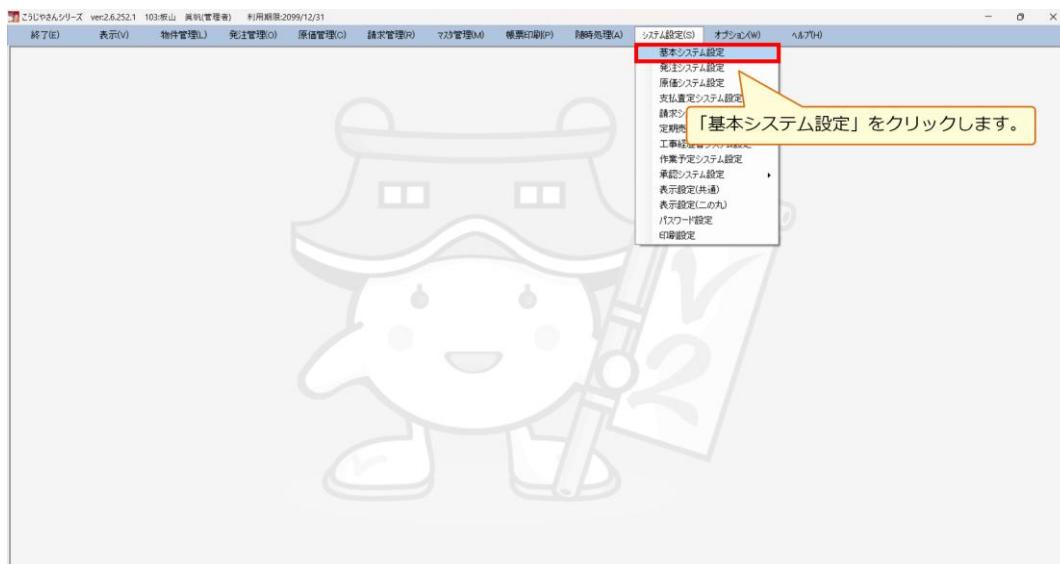
二の丸の「物件台帳」に「請求先情報」欄が追加されたことに伴い、

本丸の「台帳参照」でも下記条件により「請求先情報」欄が表示できるようになりました。

「得意先」と「請求先」が異なる場合の確認に便利です。



ステップ2. 設定方法は、[システム設定(S)]-[基本システム設定]をクリックします。

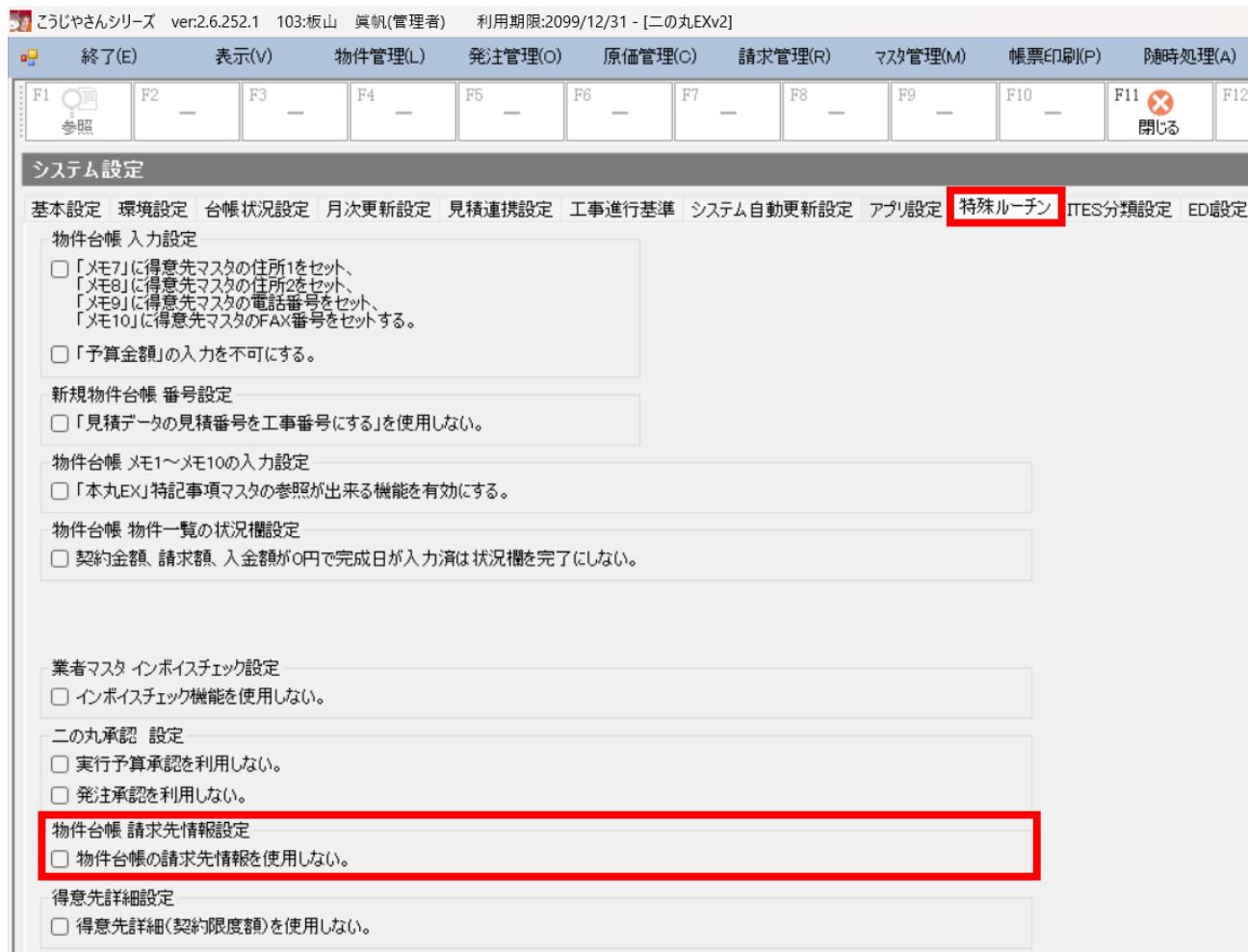


「台帳参照」ボタンによって開く二の丸の「物件台帳参照」画面で「請求先情報」が確認できるようになります。

### ステップ3. [システム設定] - 「特殊ルーチン」タブをクリックします。

「□物件台帳の請求先情報を使用しない。」にチェックが付いている時は、

従来通り、「請求先情報」欄は表示されません。

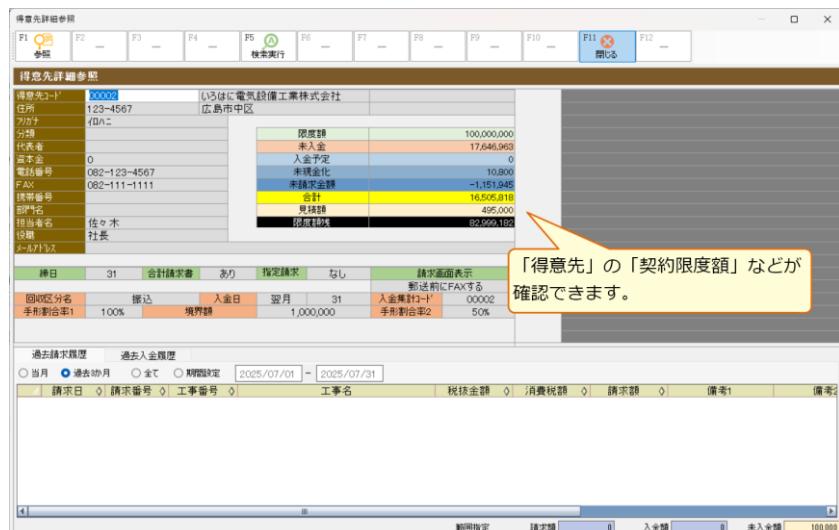


「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

## 12：【二の丸連携あり】表紙画面から「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

### ステップ1. 「得意先詳細参照」画面

二の丸の「得意先詳細参照」に「契約限度額」の項目が追加されたことに伴い、本丸の表紙画面から「得意先詳細」画面を表示することができるようになりました。また、設定により「見積・受注承認」や「受注処理」を行う前に、「得意先詳細」画面を自動的に表示させて確認することもできます。  
※「見積・受注承認」はオプション機能になります。



### ステップ2. 設定方法は、[システム設定(S)]-[システム設定]をクリックします。



「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

### ステップ3. [システム設定]—[特殊ルーチン]タブをクリックします。

「□処理時に得意先詳細画面を表示する」にチェックを付けると、

それぞれチェックの付いた処理を実行する際に「得意先詳細画面」を表示します。

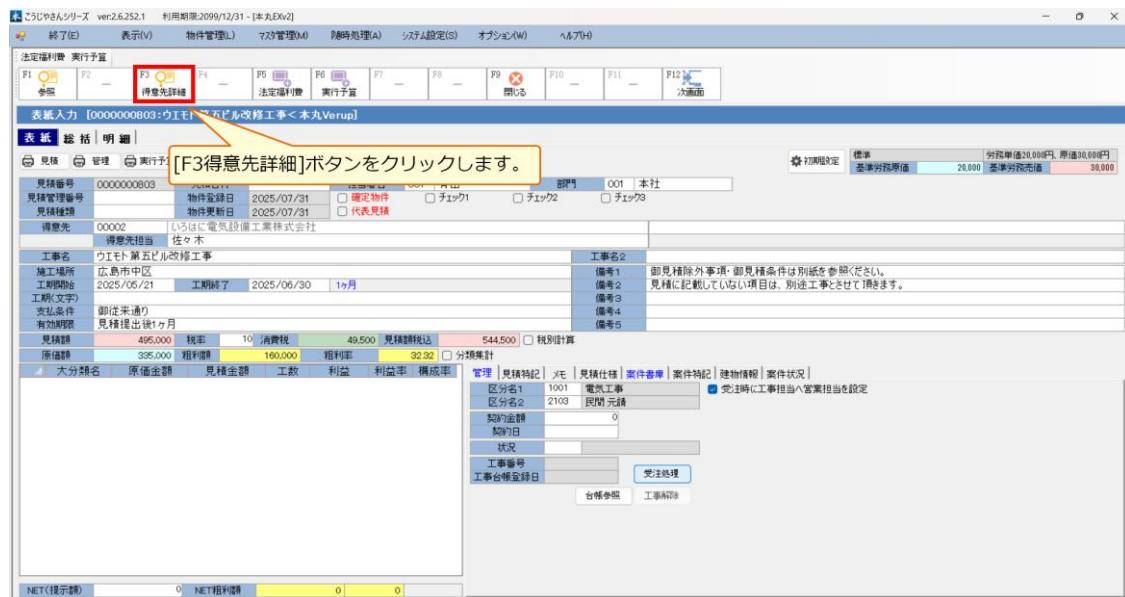
「□得意先詳細ボタン」にチェックを付けると、

表紙入力画面にファンクションキー[F3 得意先詳細]が表示されます。



### ステップ4. 先ほどの設定により、「表紙」入力画面の[F3 得意先詳細]ボタンが表示されました。

「表紙」入力画面の[F3 得意先詳細]ボタンをクリックします。



## 13 : Ver2.6.253.1 以降 新機能

ステップ 1 .

本丸EX v2 Ver.2.6.253.1 以降

新機能 操作マニュアル

「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

## 14 : 【二の丸連携あり】表紙画面から「得意先詳細」画面を表示して、契約限度額などの情報を確認することができるようになりました。

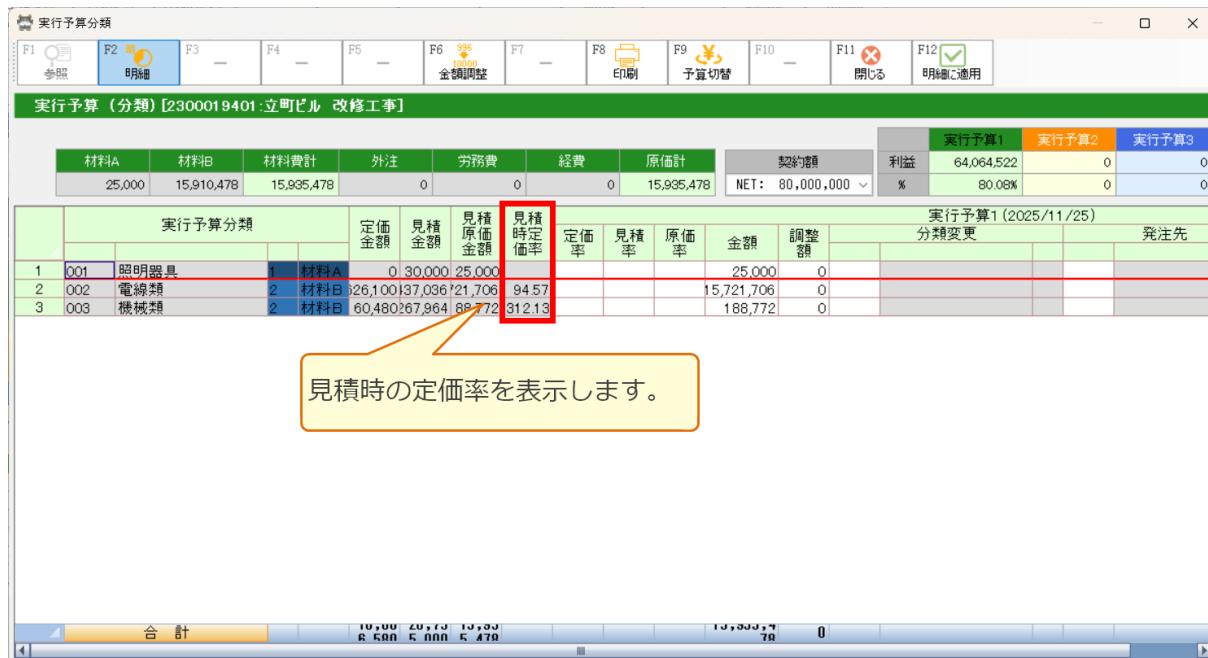
ステップ1. 「得意先詳細参照」画面が表示されました。

画面に、見積読込時の定価率を分類画面と明細画面に表示するように改修しました。

## 15：【実行予算オプション】実行予算画面に、見積読込時の定価率を分類画面と明細画面に表示するように改修しました。

### ステップ1. 実行予算（分類）画面

見積時の定価率を表示します。



### ステップ2. 実行予算（明細）画面

見積時の定価率を表示します。



## 16：管理資料に工種番号付き工種名の印刷パラメータを設けました。

ステップ1. 工種を作成します。

下記の管理資料に工種番号付き工種名の印刷パラメータを設けました。

- ・実行予算書(工種別分類集計)
- ・実行予算書(工種別原価表)
- ・工種別分類集計一覧表
- ・複合単価計算書

### 【出力帳票名】

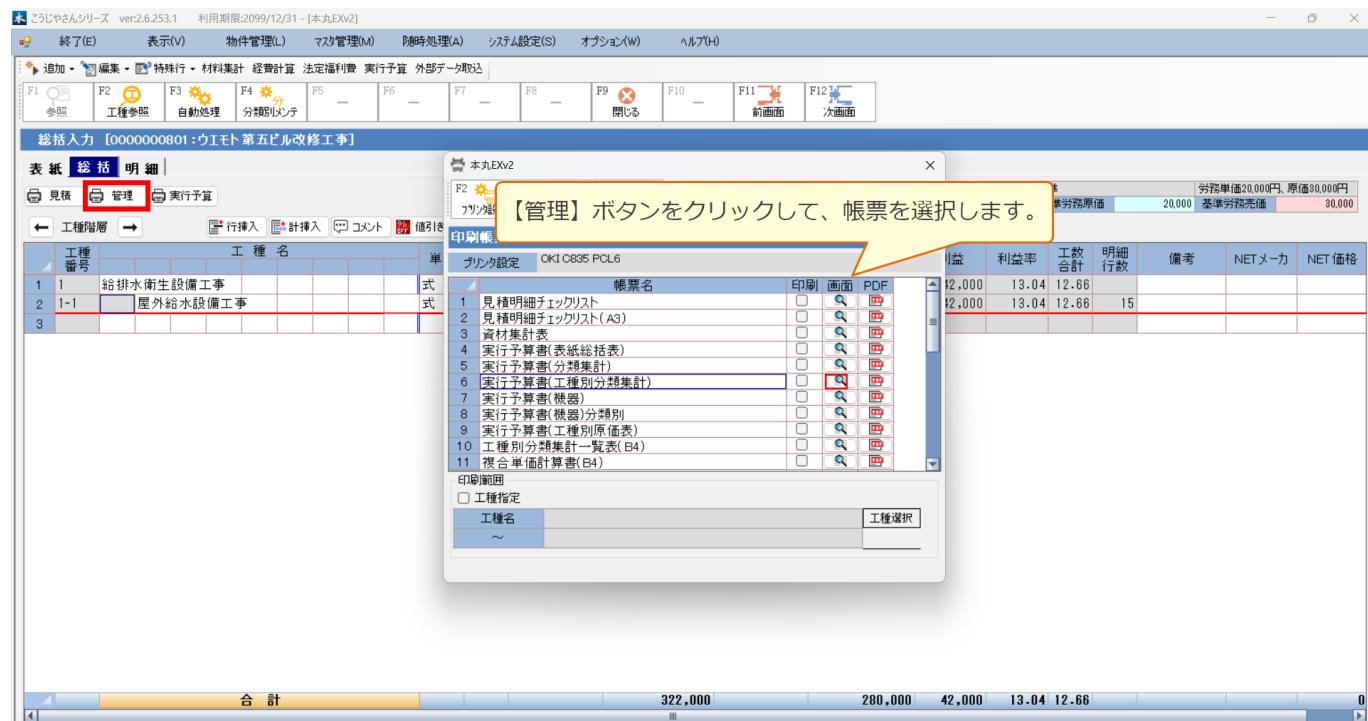
- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| ・実行予算書(工種別分類集計) | **kousyu2               |
| ・実行予算書(工種別原価表)  | **kou201                |
| ・工種別分類集計一覧表     | **kousyu201～**kousyu210 |
| ・複合単価計算書        | **kousyu2               |

### 【印刷パラメータ名】

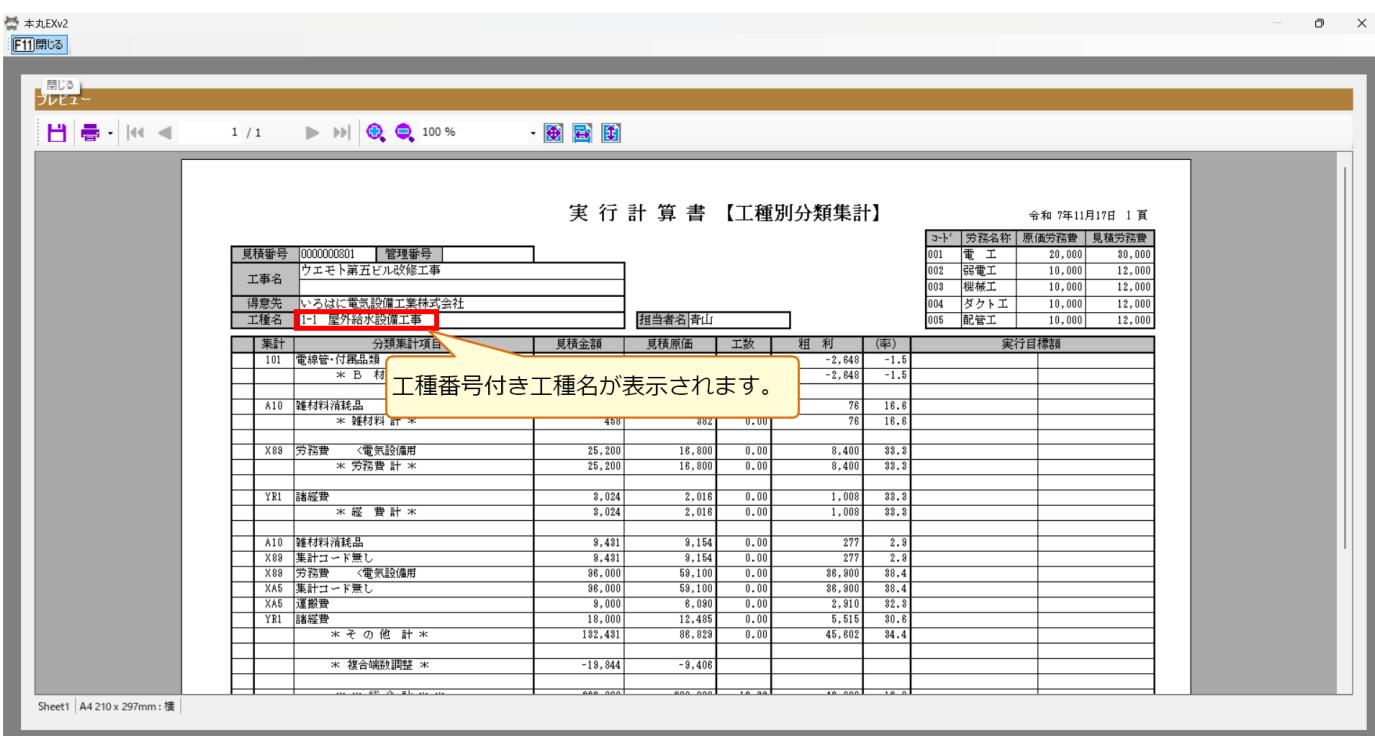
工種番号	工種名	単位	数量	見積単価	見積金額	原価単価	原価金額	利益	利益率	工数合計	明細行数	備考	NETメーク	NET値格
1	排水衛生設備工事	式	1.00	322,000.00	322,000	280,000.00	280,000	42,000	13.04	12.66				
2	屋外給水設備工事	式	1.00	322,000.00	322,000	280,000.00	280,000	42,000	13.04	12.66	15			
3														

印刷パラメータを設けました。

## ステップ2. 帳票を選択します。



## ステップ3. 実行予算書【工種別分類集計】



#### ステップ4. 実行予算書【工種別原価表】

## ステップ5. 工種別分類集計一覧表

本丸EXv2

F11を開じる

プレビュー

1 / 1 | 200 %

千円／単位

工種別分類集

見積番号	0000000801	管理番号	
工事名称	ウエモト第五ビル改修工事		
得意先名	いろはに電気設備工業株式会社		
担当者	青山		
工種名	1-1 屋外給水設備工事 < 合計 >		
分類名	見積金額	原価	
電線管・付属品類	181		
* B 材計*	181	183	181
	183		

工種番号付き工種名が表示されます。

Sheet1 | B4 257 x 364mm : 横

## ステップ 6. 複合単価計算書

本丸EX2  
[F1]閉じる

プレビュー

1 / 1 100% 100% 100%

複合単価計算書

見積番号 0000000801 現状管理番号  
工事名 ウエモト第五ビル改修工事  
工種名 I-1 屋外給水設備工事 担当者名 青山

材料費

工種番号付き工種名が表示されます。

品名 / 規格	単位	数量	計					労務費				合計	複合単価	備考	
			労務費1	労務費2	労務費3	ハラ補修	その他	計							
ダブル電線管 E 19	m	251.81	110.00	50%	0%	0%	6%	0.042	0.000	0.000	0%	12%			
ダブル電線管 E 19 隠べい	m	286.80	815.50	143.40	0.00	0.00	22.80	481.80	1,260.00	0.00	0.00	0.00	151.20	1,411.20	1,888
ダブル電線管 E 31	m	455.80													456
ダブル電線管 E 68	m	1,156.45													1,156
ダブル電線管 E 76	m	1,445.84													1,446
ダブル電線管 E 19 フジルス製電線管 隠べい	m	1,583.10													1,583
電線管 E 22	m	584.51													585
電線管付属品 <各電線管の付属品半で自動計算	m	50,850.00													50,850
電線管支持材 <自動計算 電線管 x 1K	m	15,800.00													15,800
電線管消耗品 <自動計算 (A材 x 5% + B材 x 5%)	m	8,431.00													8,431
電工労務費 <金体															

Sheet1 | B4 257 x 364mm : 横

帳票の物件ごとの表紙に「工事名称」を印字できる印刷パラメータを設けました。

## 17 : 【点検見積オプション】物件総括帳票の物件ごとの表紙に「工事名称」を印字できる印刷パラメータを設けました。

### ステップ1. 工事名を入力します。

物件総括対応見積書の「物件総括表」ページに印刷される「表紙入力」画面の「工事名」について、「総括入力」画面の「P(親挿入)」で括られる物件ごとの見積書の「表紙」ページにも印刷できるパラメータを追加しました。

#### 【追加パラメータ名】

\*\*bh\_kouji01

\*\*bh\_kouji02

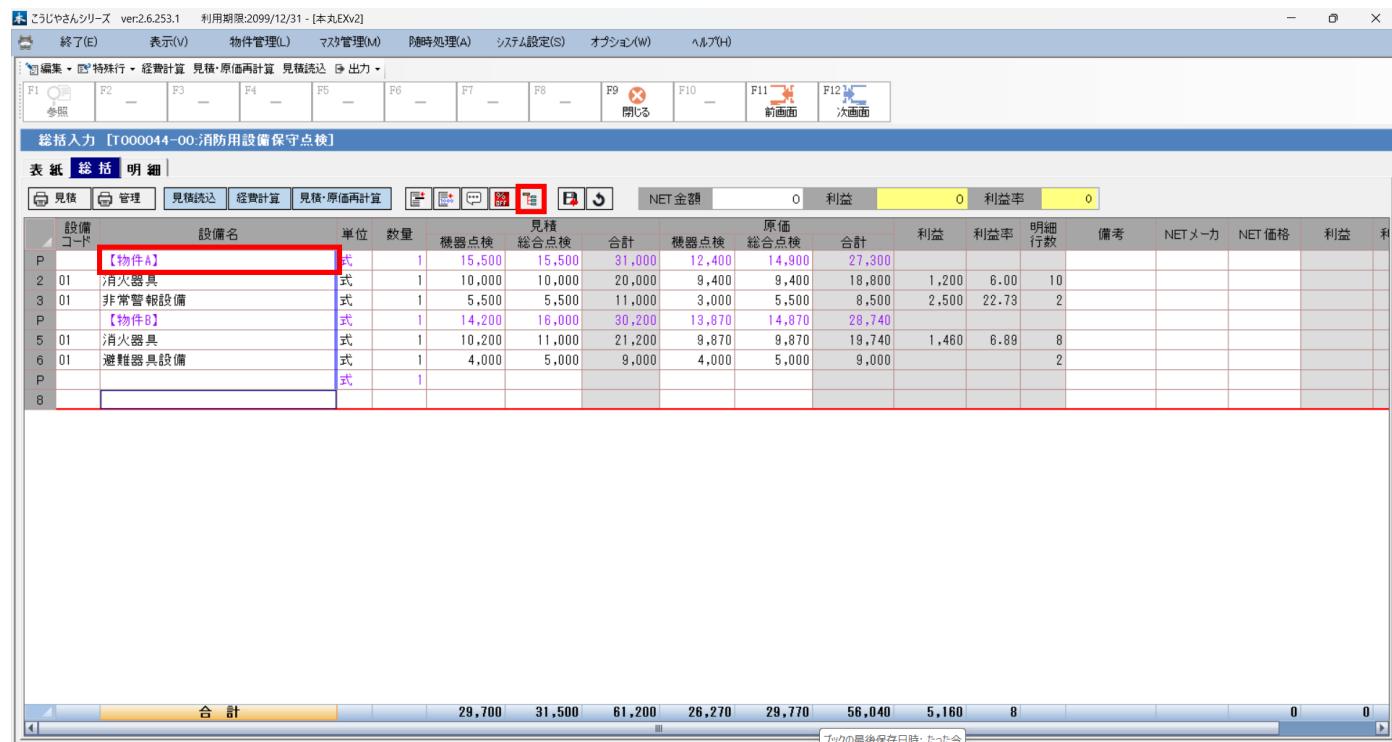
#### 【対応帳票(点検見積のみ)】

- ・見積書(物件総括)
- ・見積書(物件総括見積仕様一括)
- ・見積書(物件総括明細内内訳金額無し)
- ・見積書(物件総括明細内内訳金額有り)
- ・見積書(物件総括見積仕様一括明細内内訳金額無し)
- ・見積書(物件総括見積仕様一括明細内内訳金額有り)

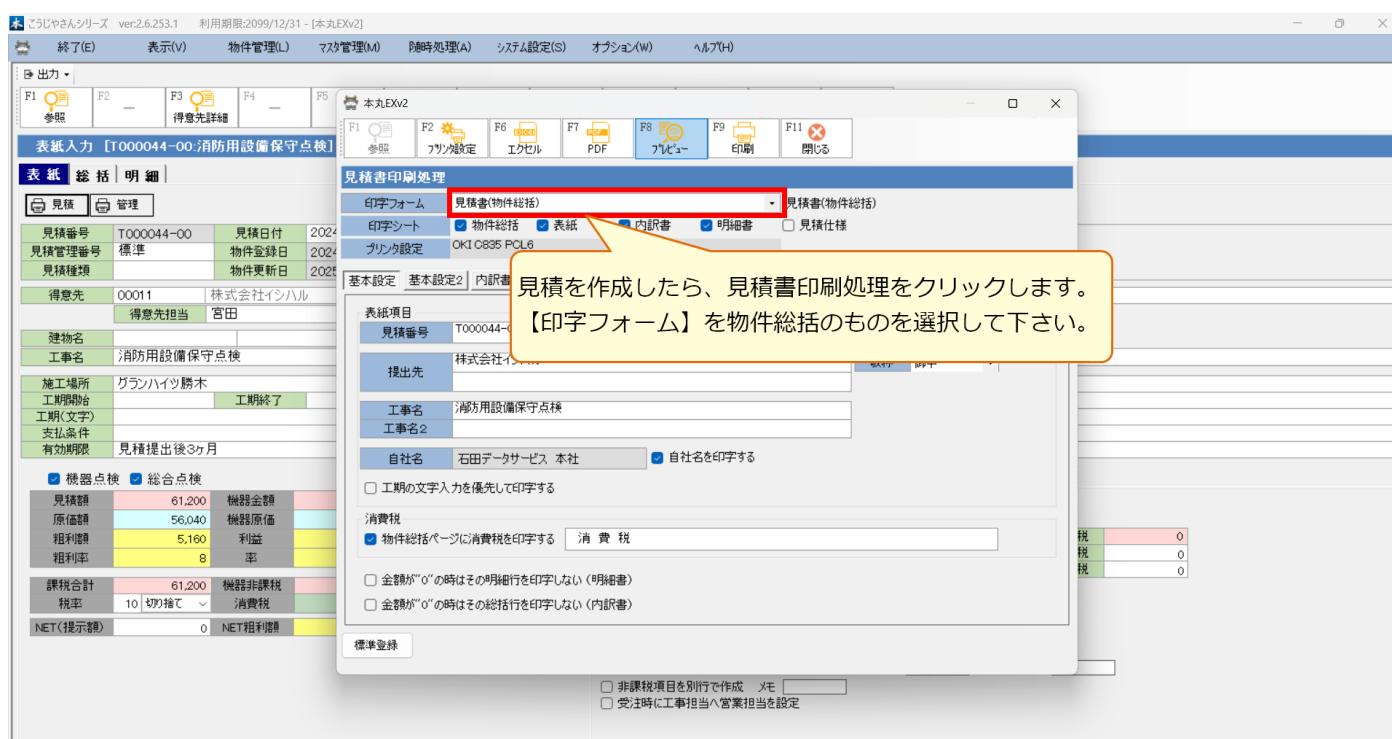
The screenshot shows the 'Table Paper Input' screen for estimate number T000044-00: Fire Protection Equipment Maintenance Inspection. The 'Job Name' field is highlighted with a red box and an orange arrow pointing to the text '工事名を入力します。' (Please enter the job name). The 'Job Name' field contains the text '消防用設備保守点検'.

帳票の物件ごとの表紙に「工事名称」を印字できる印刷パラメータを設けました。

## ステップ2. 親挿入ボタンから設備名を入力し、通常通り見積を作成していきます。

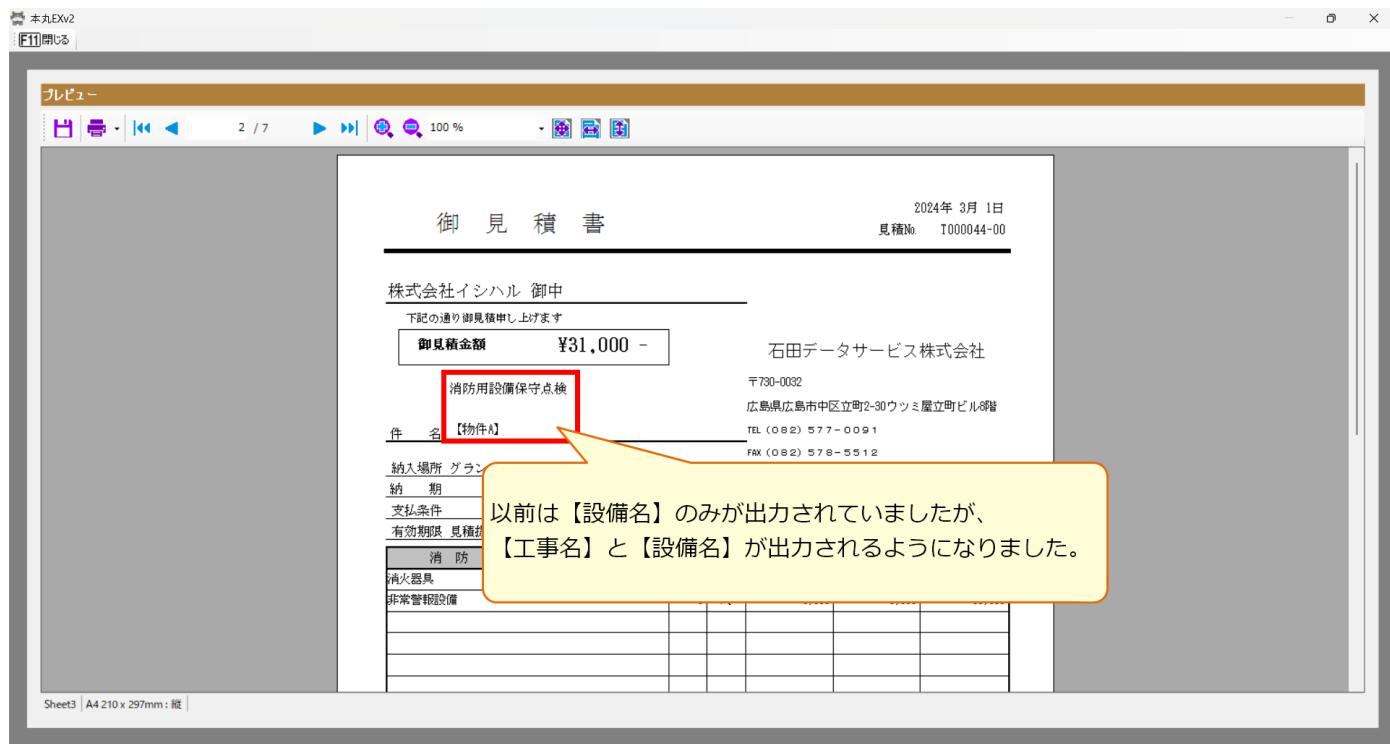


## ステップ3. 見積書印刷処理ボタンをクリックします。



帳票の物件ごとの表紙に「工事名称」を印字できる印刷パラメータを設けました。

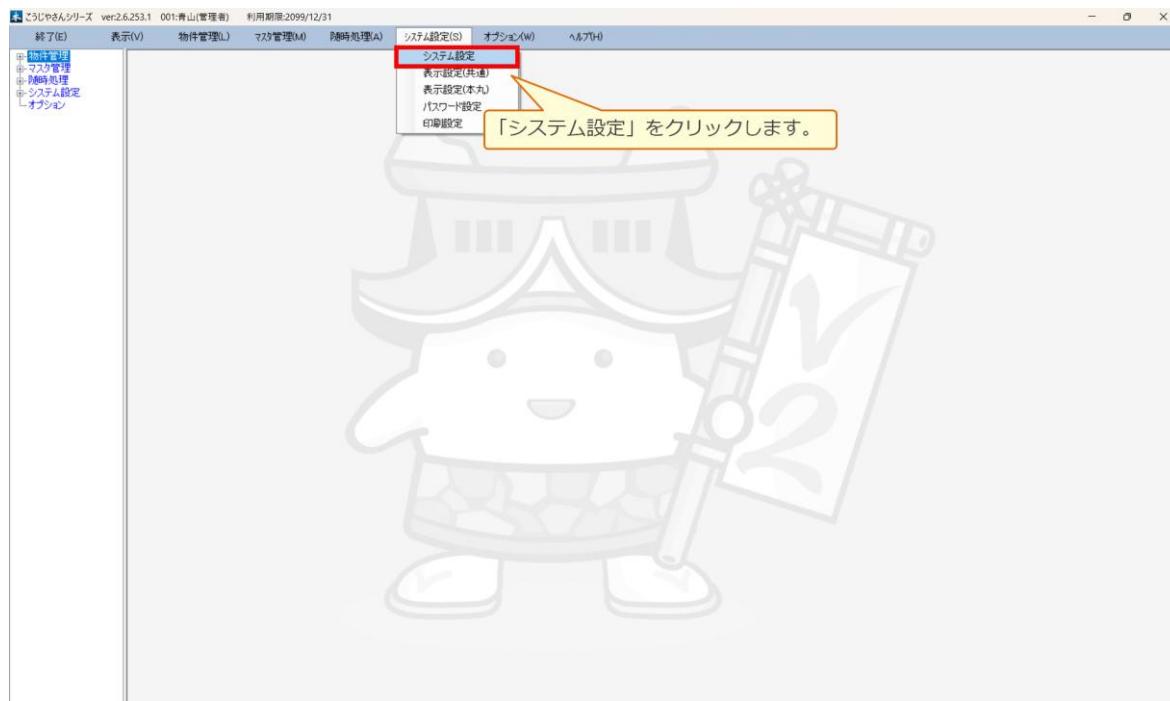
## ステップ4. 印刷プレビュー



担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

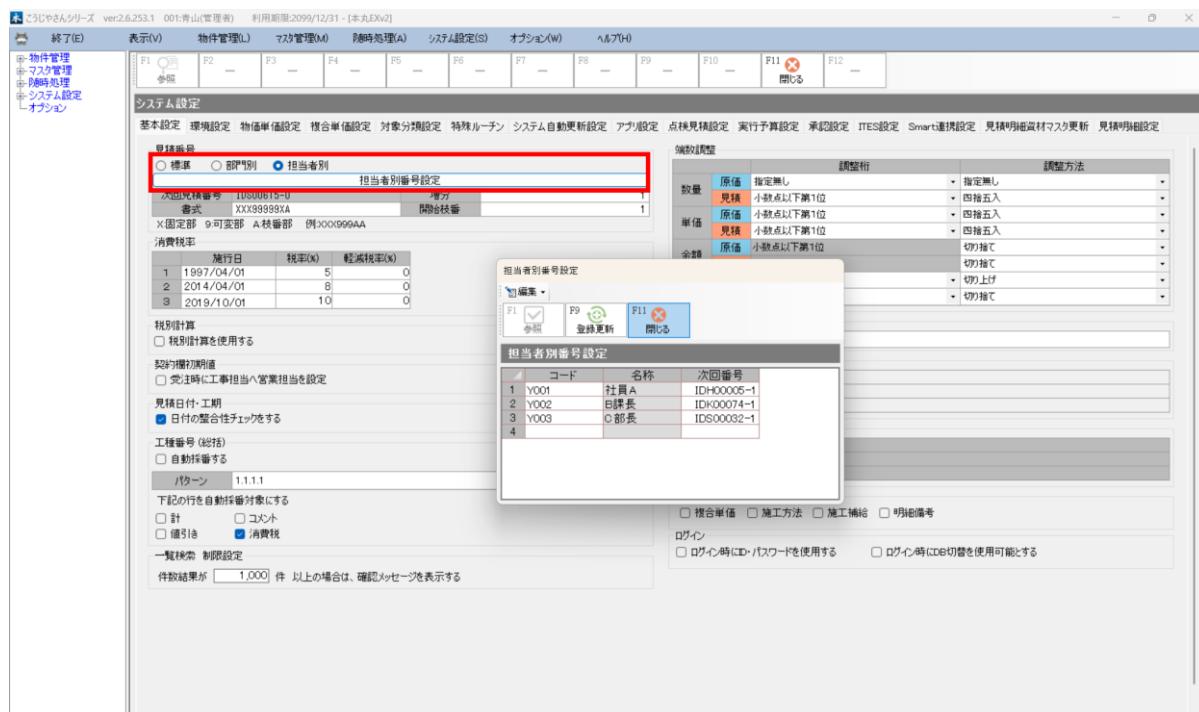
## 18：見積番号の設定（標準・部門別・担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

ステップ1. [システム設定] - [システム設定]をクリックします。



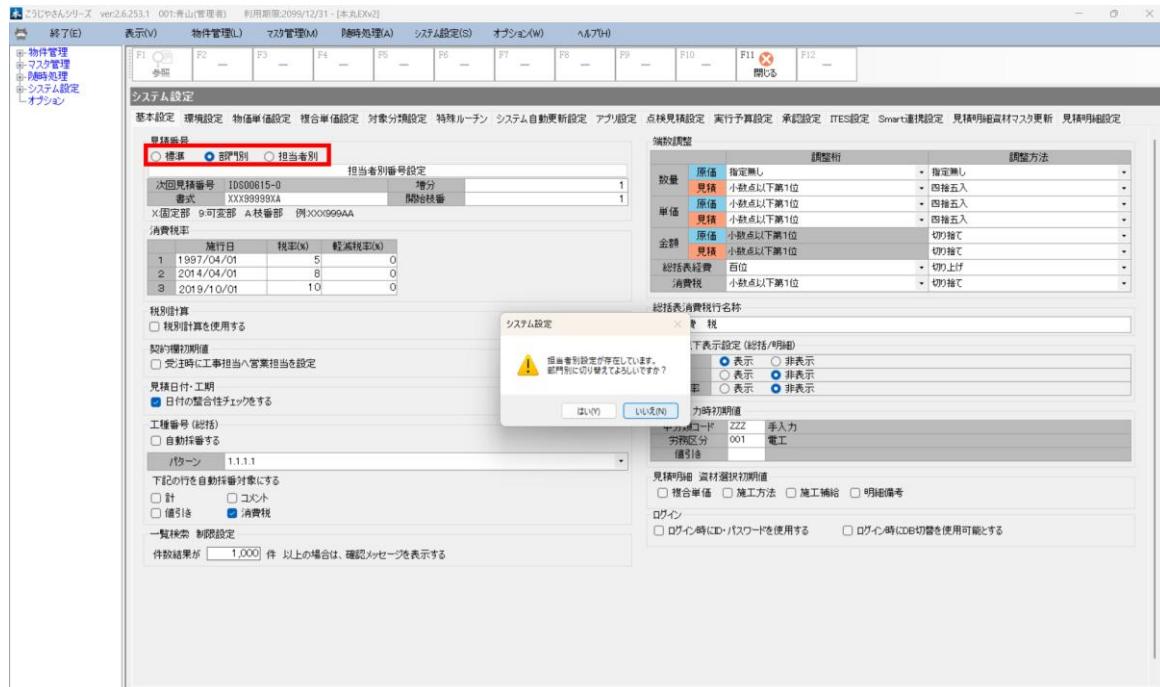
ステップ2. 【担当者別から部門別へ変更する場合】

担当者別番号設定に以下の内容で登録していたとします。



担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

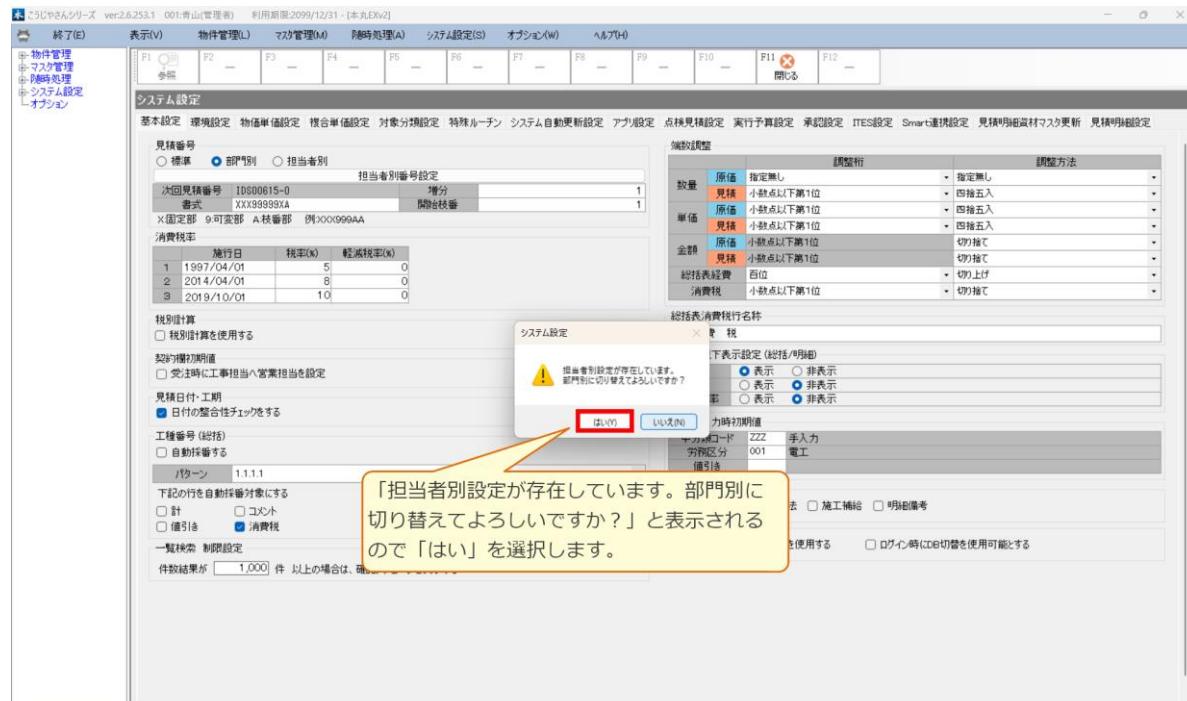
## ステップ3. 部門別を選択します。



## ステップ4. 「担当者別設定が存在しています。部門別に切り替えてよろしいですか？」と表示されるので「はい」を選択します。

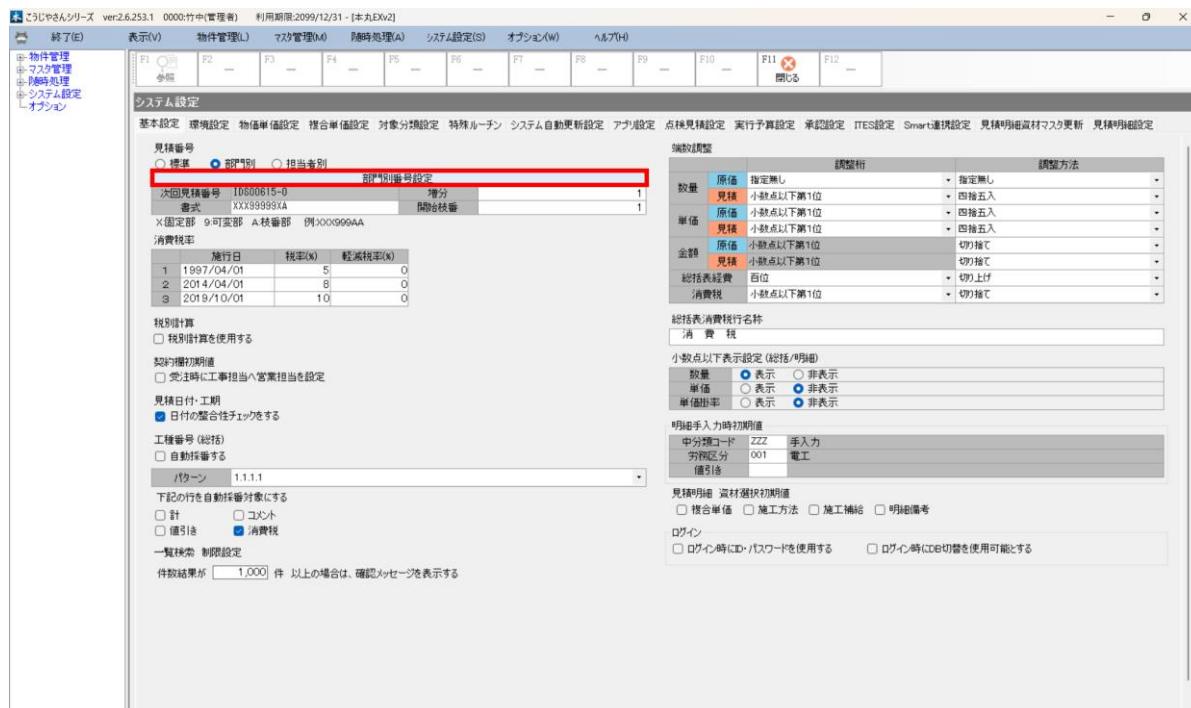
「はい」を選択した場合は、部門別に切り替わります。この時点では、担当者別番号設定の登録内容は残ったままです。

「いいえ」を選択した場合は、部門別に切り替わらずに担当者別に戻ります。



担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

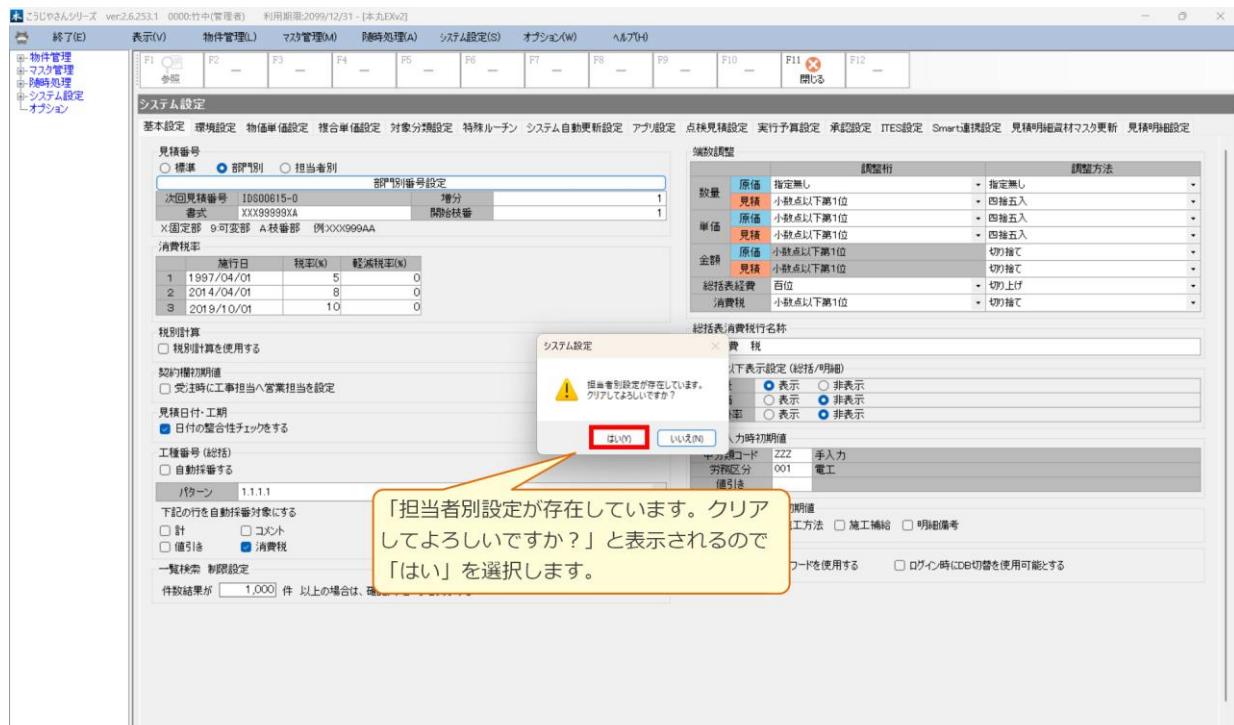
## ステップ 5. 部門別番号設定をクリックします。



ステップ 6. 「担当者別設定が存在しています。クリアしてよろしいですか？」と表示されるので「はい」を選択します。

「はい」を選択した場合は、担当者別番号設定の登録内容を削除し、部門別設定画面を開きます。

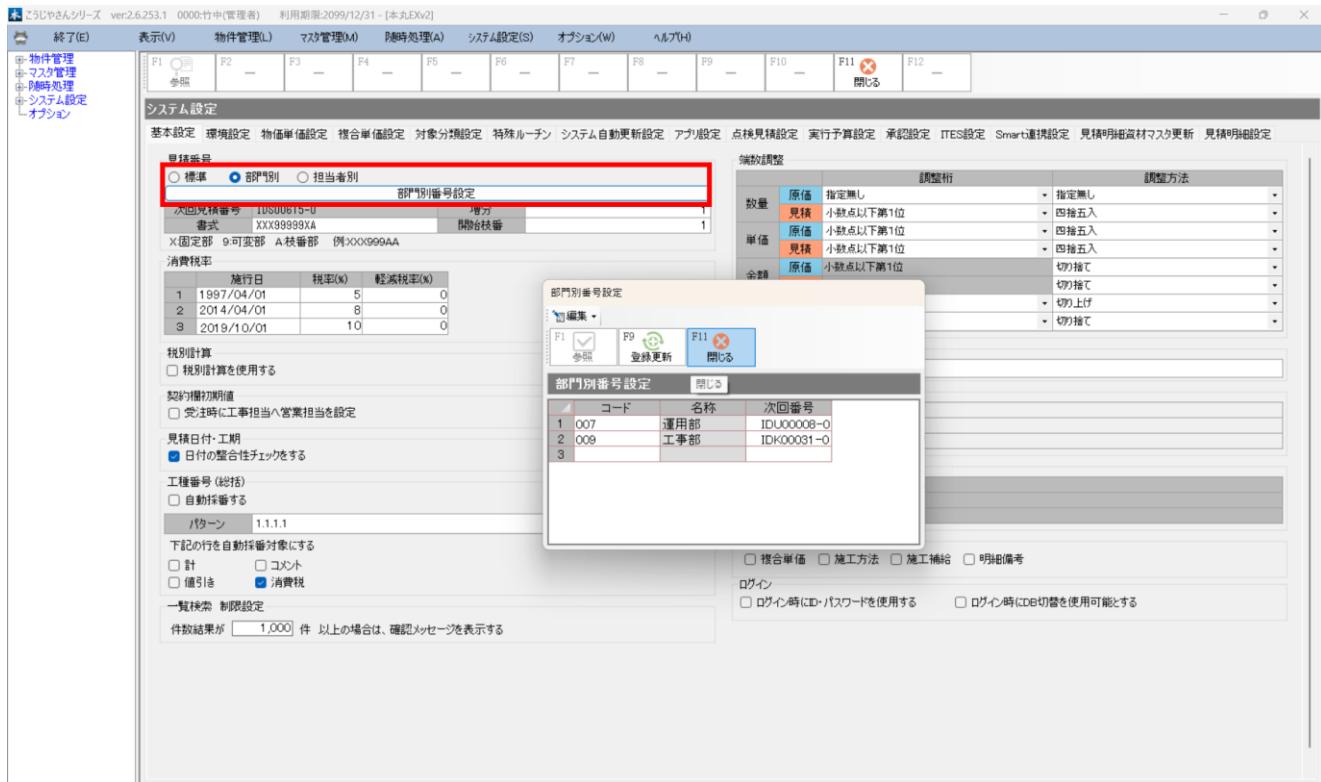
「いいえ」を選択した場合は、担当者別番号設定の登録内容は残ったままになります。



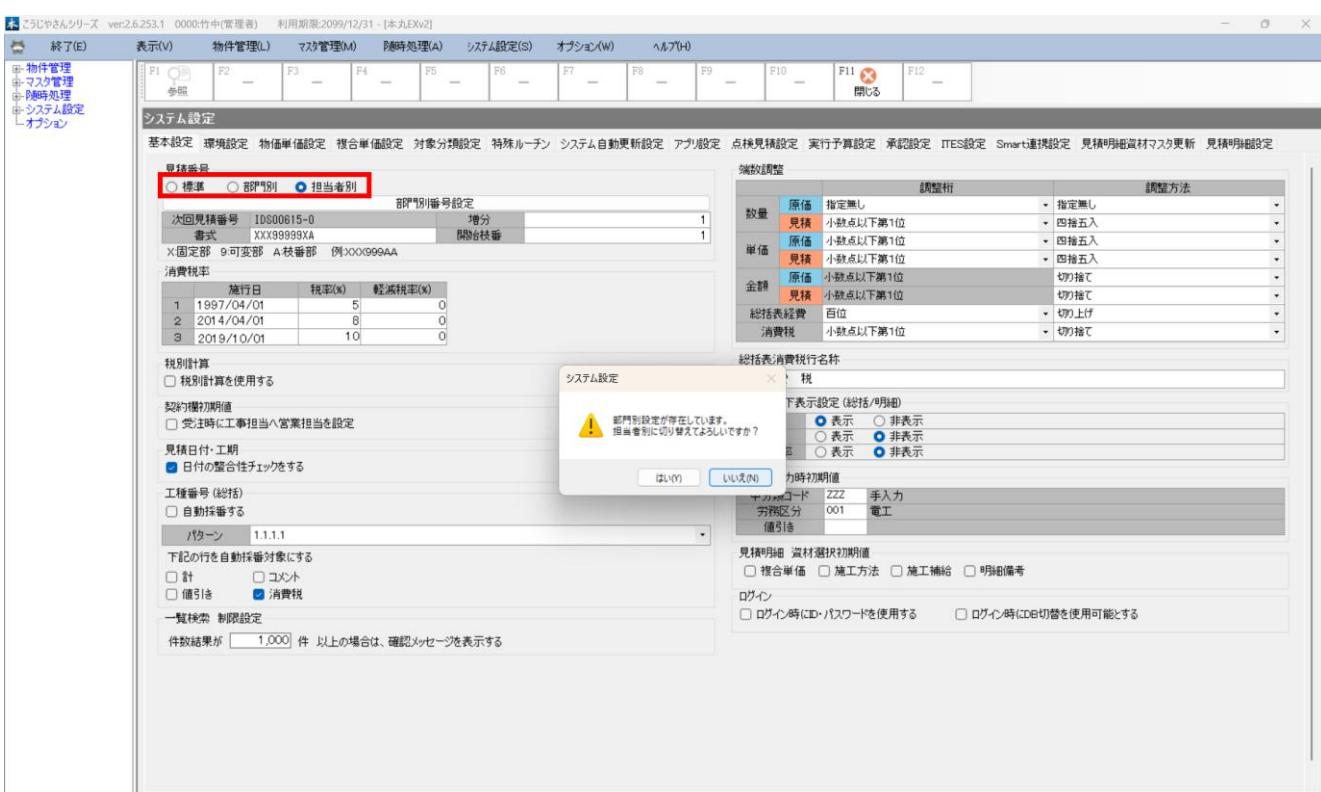
担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

## ステップ7. 【部門別から担当者別へ変更する場合】

部門別番号設定に以下の内容で登録していたとします。



## ステップ8. 担当者別を選択します。

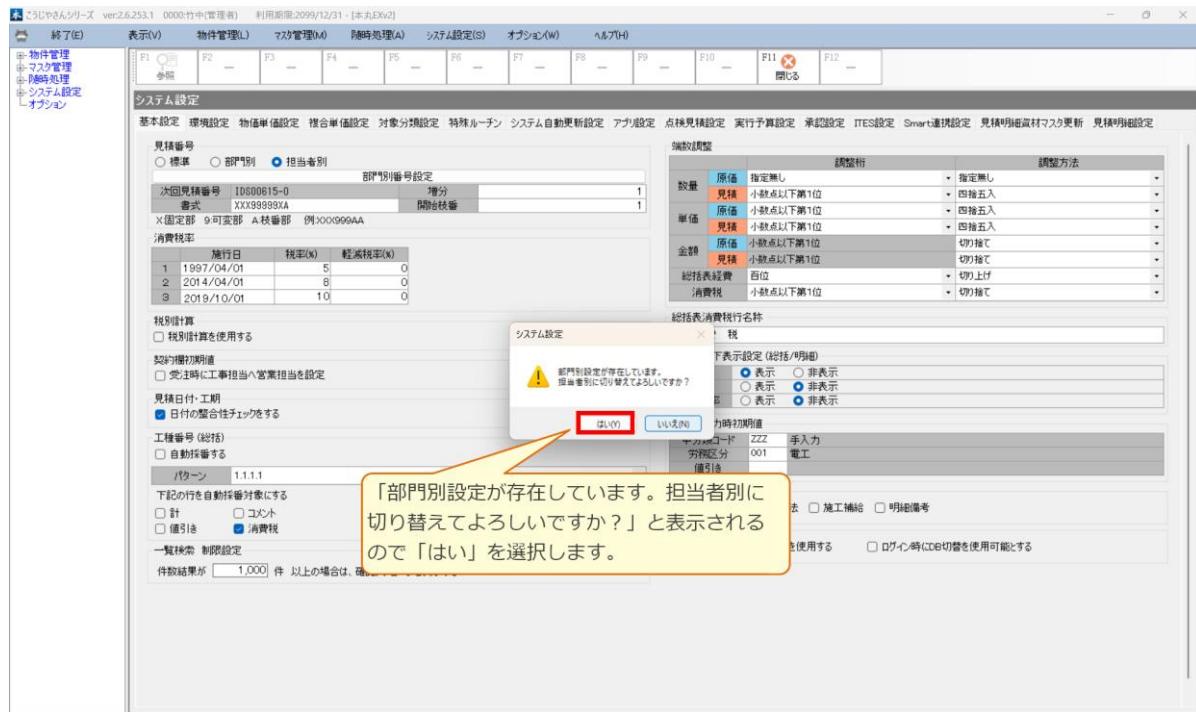


担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

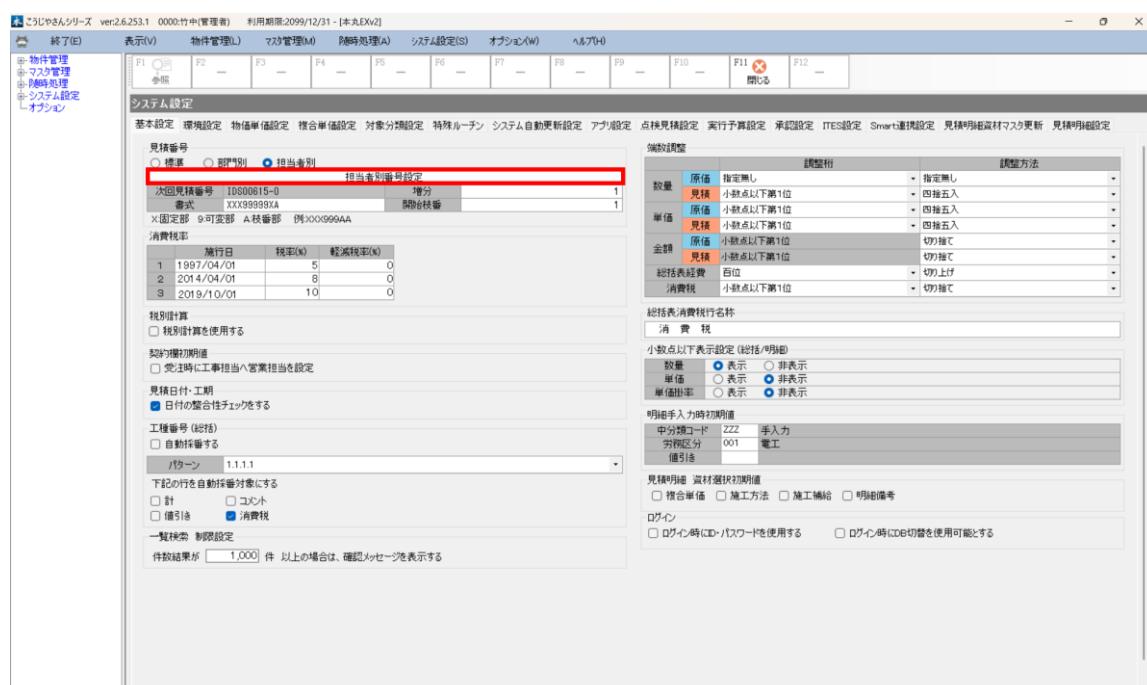
ステップ9. 「部門別設定が存在しています。担当者別に切り替えてよろしいですか？」と表示されるので「はい」を選択します。

「はい」を選択した場合は、担当者別に切り替わります。この時点では、部門別番号設定の登録内容は残ったままでです。

「いいえ」を選択した場合は、担当者別に切り替わらずに部門別に戻ります。



ステップ10. 担当者番号設定をクリックします。

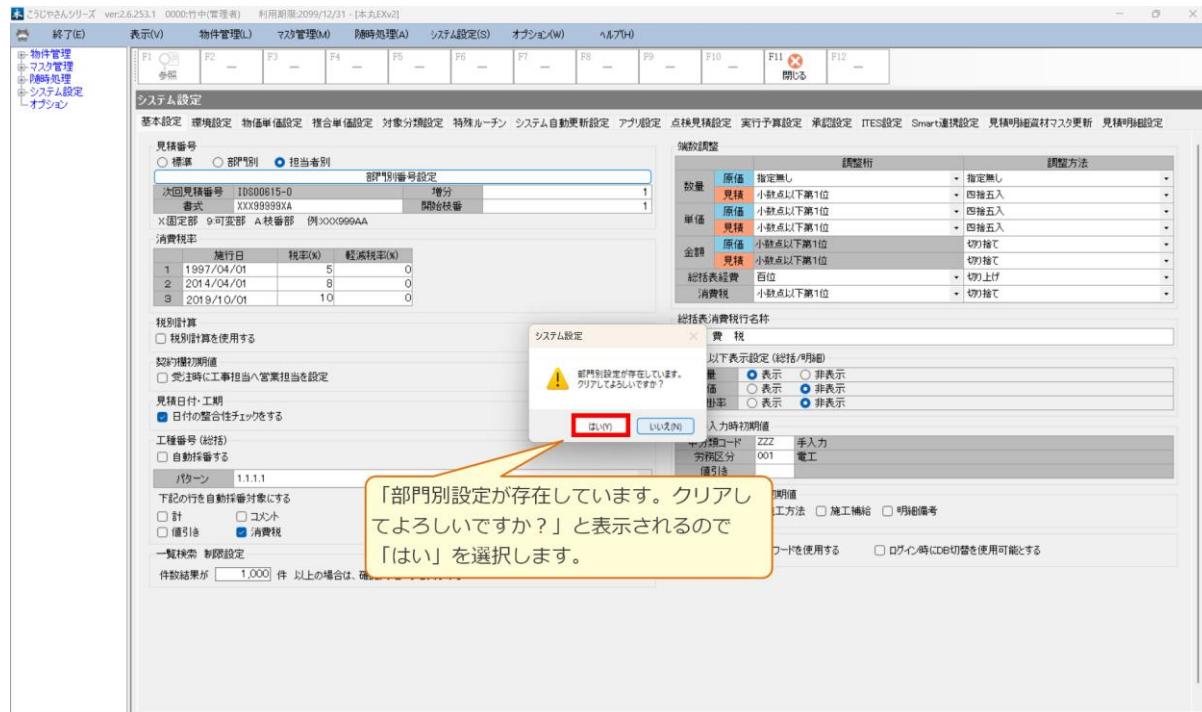


担当者別）変更時の注意喚起の確認メッセージを分かりやすい文章へ変更しました。

ステップ 11. 「部門別設定が存在しています。クリアしてよろしいですか？」と表示されるので「はい」を選択します。

「はい」を選択した場合は、部門別番号設定の登録内容を削除し、担当者別設定画面を開きます。

「いいえ」を選択した場合は、部門別番号設定の登録内容は残ったままになります。



ステップ 12. なお、システム設定画面を閉じる際も選択したボタンと番号設定が一致していない場合は確認メッセージを表示します。

